

話題のY.I.C.S.を装備して、4機種一挙に新登場!

XJ400 *Special* / XJ400D XJ750A / XJ750E

新発売! RX80 *Special*

ミッドナイト仕様
限定販売

XJ650 *Special* / **POCKE** QA50



《特集》新しいスポーツの時代が始まる

高出力と低燃費を実現して
YICS装備車いよいよ登場…………… 3

第1回YSPミーティング イン SUGO
めざそうオリティショップ。ヤマハとともに…………… 6

YICSを装備して——
話題のビッグスポーツ、4機種一挙に新登場…………… 11

●カラー

《新商品ご案内》

RX80スペシャル、XJ650スペシャル/ポッケQA50(ミッド
ナイト仕様・限定販売)…………… 15

XJ400スペシャル/XJ400D…………… 16

XJ750A/XJ750E…………… 18

いい風 No.1 スクーターはヤマハ
「パセッタ」新発売キャンペーン…………… 20

ヤマハショールーム……ヤマハ漁船…………… 22
話のパドック…………… 23

フレンド店登場⑤…………… 24

連載⑤ セールス最前線…………… 26

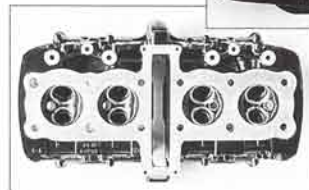
パワーアップ★ヤマハ奥さま…………… 28

ヤマハ★トピックス…………… 30

セフティ★コーナー…………… 34

ヤマハ用品★部品コーナー…………… 35

YICS



写真は、ニューXJのシリンダー(右)とシリンダーヘッド。燃焼室とシリンダーポート上部に見える

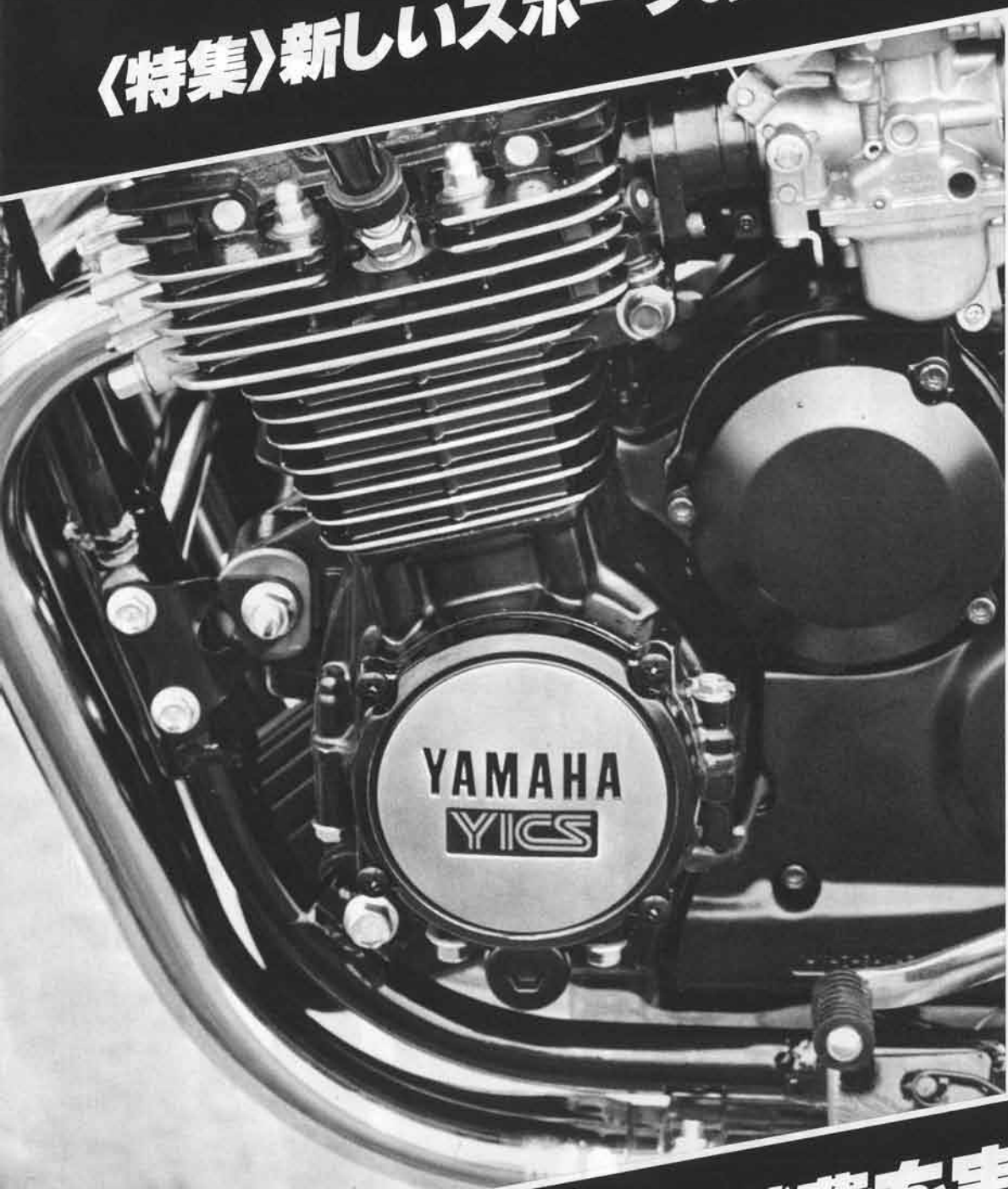
4つの小穴が、ハイパワー&エコノミーYICSのヒミツ“副吸気通路”。ヘッドの上にシリンダーを重ね、吸気通路からタバコの煙を吹き込むと、シリンダー内にはみごとな煙のスワール(ウズ巻)を見ることができます。4月4日、袋井ヤマハコースで行なわれたニューXJ専門誌記者発表・試乗会でもこの小さな大技術に話題が集中したものです。

世界で初めてモーターサイクルにマイクロコンピュータを使った集中警告モニターを装備した『XJ750A』。ユーザーは、ただメインスイッチをオンにし、モニターを確かめるだけでよいのです。こうした電子技術とモーターサイクル技術の結合について、『モーターサイクルでもエレクトロニクスの応用はどんどん進む。このコンピュータモニターからドライブコンピューター、さらにはエンジンのマイコン制御による性能向上、燃費向上も考えられる。電子燃料噴射とターボチャージャーはトップモデルでは常識化しよう……』とその限りない可能性がYSPミーティングの席上、森永取締役・第4技術部長からも披露されて注目されたものです。



《表紙》YICS、コンピュータモニター、アジャスタブル・アンチノーズダイブフォーク……先進のヤマハテクノロジーの結晶、話題のラグジュアリスports『XJ750A』

〈特集〉新しいスポーツの時代が始まる。



昨年6月末の発表以来、世界的な関心を集めているヤマハ省エネルギーエンジンシステムのひとつ4サイクル技術『YICS』を初めて装備して「XJ750 A/E」「XJ400スペシャル/D」の4モデルが新登場します。

この先進のヤマハ技術を投入した話題のビッグスポーツの登場は昨年来最高のもり上がりを見せるヤマハスポーツの人気をさらに高めるもの。折りから、新しいスポーツ店政策『YSP』制度も発足して、いままさに新しいスポーツバイクの時代が始まろうとしているのです。

驚異の高出力と低燃費を実現して YICS装備車いよいよ登場!



実現したヘッドシリンダーの副吸気通路。これこそYICSの驚異！ニューXJ最大のセールスポイントです。

XJ400スペシャル・42PS、54km ℓ。XJ400D・45PS、52km ℓ。

XJ750A・70PS、42km ℓ。XJ750E・70PS、42km/ℓ。

—とYICS 装備のニューXJ4機種は、それぞれクラス最高のハイパワーを誇りながら、60km h定地走行テスト値（運輸省届出値）でも従来型エンジン（XJ400、XS750スペシャル）に比べ23%～28%という大幅な燃費性能アップを果しています。

高出力と低燃費、この相反する性能を“燃焼効率の向上”によって両立させたのがYICSなのです。

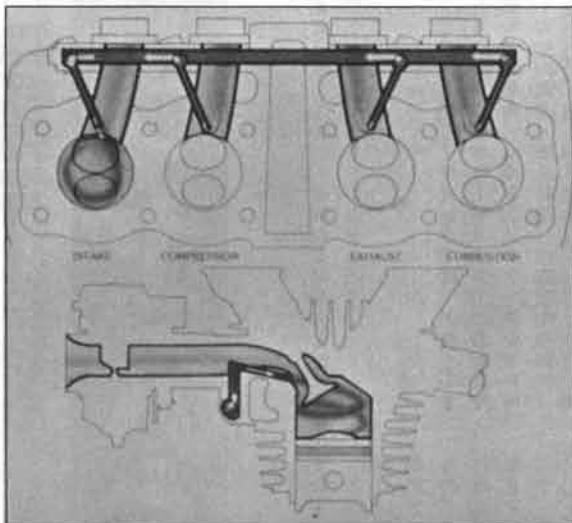
混合気を効率良く燃焼させれば、少ない燃料で高い出力を得ることができます。そして燃焼効率は、燃焼時間を短くすることで向上するのです。

このために、シリンダー内への吸入混合気の流速を速め、うずまき状のジェット噴流として燃焼時間を短縮し燃焼効率を高めたのがYICSの基本原理です。

そしてこのジェット噴流をつくり出すために、吸気通路と並行に吸気通路の $\frac{1}{4}$ ～ $\frac{1}{6}$ と細い副吸気通路を設け、その開口部を吸気バルブ近くでシリンダーの接線方向に向け、同時に4気筒それぞれの副吸気通路を連結パイプで結んでいます。

つまり、YICSの構造はヘッドシリンダーに設けた副吸気通路だけ。特別な部品も、使用上のメンテナンスもまったく不要な構造なのです。

ニューXJの4気筒エンジンで、1つが吸入行程にある時、残る3つの気筒の吸気バルブ近くに圧力差が生じます。これで副吸気通路に混合気の流れが生じ吸入行程



気筒の主吸気通路からの流れを4倍以上にスピードアップし、同時にうずまきを発生させるのです。

この吸入混合気の流速アップとうずまきの発生、つまりYICSの効果は最も使用頻度の高い中低速域で発揮され、高速回転域では、スロットル操作に呼応してキャブレターのダイヤフラムの作動により主吸気通路から混合気が吸入される一般エンジンと同様になります。

この結果、燃費性能の向上とハイパワーの確保も一段と効果的に両立することができるのです。

ハイパワ

YICS

クラス最高のハイパワーと23%以上の燃費性能アップを

THE 1ST YSP MEETING IN SUGO

めざすYSPのバイク・ユーザー・ショップ・メーカー・ディーラー

250cc、400cc、750ccとビッグバイクの3大市場に史上最強のラインアップを完成したヤマハスポーツシリーズ。

これにあわせて、81年度からは新しいスポーツ店制度(YSPP)(ヤマハ スポーツブラザ)も発足。3月29日には宮城県のスポートランドSUGOに全国から260余店の(YSPP)さまを集めて盛大な第1回ミーティングがひらかれました。

アダルトユーザーの増加に象徴される最新のスポーツ市場の変化をふまえ、スポーツバイクを「クオリティ・スポーツ・フォー・クオリティ・ビープル」と位置づけ、新時代に即応した「クオリティ・ショップ」づくりをめ

ざそうというのが、長期的な構想のもとに展開される(YSPP)システムです。

この第1回ミーティングでは、1周2・654kmのSUGOロードコースでの最新鋭モデルの試乗会、くぬぎ山荘ファンクションルームでの営業・商品政策、技術動向の発表、

そしてYSPモデル店や豊富な新開発用品類のご紹介が行なわれ、出席されたみなさまは新しいスポーツ時代の新しいスポーツ店(YSPP)づくりに大きな意欲を燃やされたもの。ここに、第1回ミーティングで紹介された(YSPP)構想の一端と、(YSPP)みなさまの新たな意欲のほどを、ご紹介しよう――

スポーツバイクの市民権確立へまい進!



ミーティングの冒頭にヤマハを代表してあいさつに立った荒田忠典・常務取締役は、昨年来のニューモデルを中心とした商品の供給不足に対するおわびを述べるとともに、新しい(YSPP)制度の展開によってスポーツバイクの市民権獲得をめざすヤマハの決意のほどを大要つぎのように語りました。

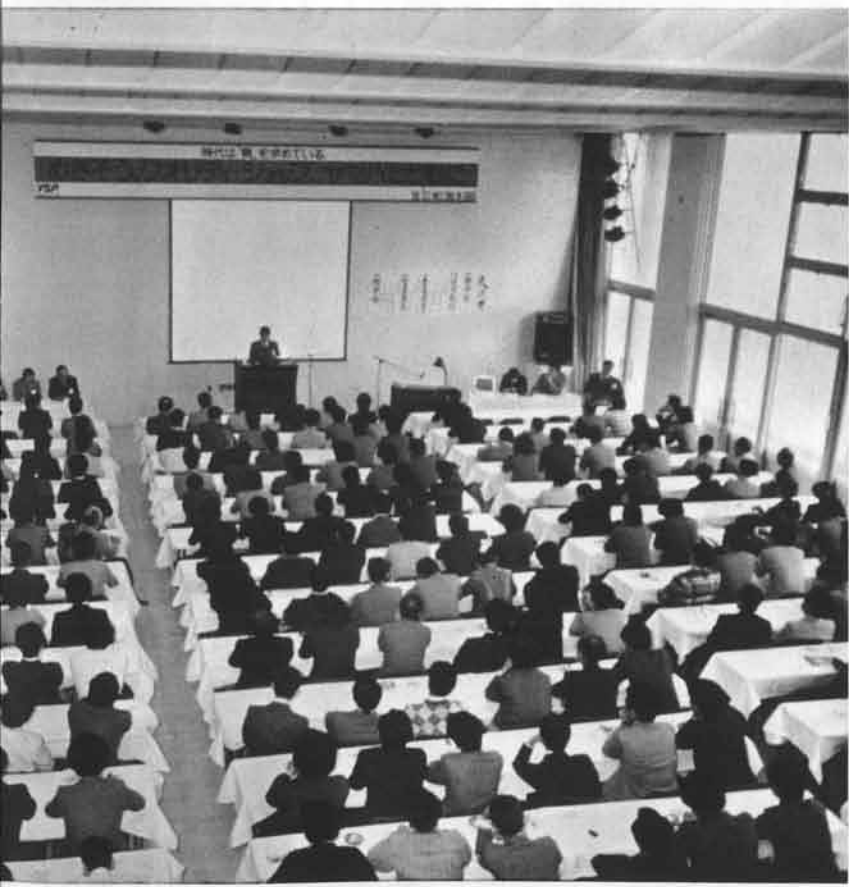
▼240万台と大幅に需要が伸びている中で、今後われわれが取組んでいかなければならないことは、単に二輪業界あるいは二輪車だけモノを見つめるのではなく、さまざまな乗り物、いろいろな商品との関連の中で二輪車をどう位置づけ、どう伸ばしていくかを考えることであらう。

▼ヤマハは以前から二輪車をひとつは民生活の足として、もうひとつはモータースポー

ツのひとつとして位置づけてきた。社会、経済の変化の中で両方がスムーズに回転してきたとはいえないが、少なくとも50cc商品については、需要層の広がりを見ても市民権を得るに至っていると自負している。

▼そして、これからの目的、この(YSPP)の大きな目的は、もうひとつスポーツバイクの市民権獲得ということである。そのためには、どういう商品で、どういうご商売の展開が、またどんな活動が求められるのかを、販売店のみなさまとともに考え、一体となって市民権の確立へまい進していく。

▼それぞれの地域の中で、どういうお客さまに、どういうバイクを勧め、どう楽しんでいただくかを安全問題、アフターサービス体制をも含めて十分に考え、スポーツバイクと、それを売るみなさまのご商売が地域の中でしっかりと社会性を確立できるようにご努力いただきたいものである。



YSPみなさんの熱気がみなぎるくぬぎ山荘ファンクションルームでのミーティング風景

〈特集〉新しいスポーツの時代が始まる

期待の新品にまたがり、テストランに心もはずむ



拡大するクオリティ・ショップへの期待



荒田常務に引きつづき平井五郎営業本部長が、スポーツバイクを中心とした最新の業界情勢と今後の展望を説明

▼昨今のビッグバイクの伸びは著しく、昭和55年度は、総需要240万台のうち、自動二輪、軽二輪で約19%の構成比を占めているが、56年度はこれが21〜22%ぐらいいまで伸びると見られている。それだけ附加価値の高い商品が売れ、みなさまのご商売に貢献しているわけだ。

▼しかし、これだけ需要が拡大し、ユーザーも多様化し商品も多種多様化する中で販売店さまの小売店機能は、このままでいいのか？と考えている。商品の特性、お客さまの特性にあわせた特長をもったお店の出現が当然期待されているところである。

クオリティショップの出現が待たれる市場背景を紹介。そしてスライドを使ったさらに詳細なスポーツバイク市場の分析がつ



つき、このクオリティショップとして――

- ①ユーザー指導ができ、地域交通社会の中で指導性を発揮できるお店。
 - ②テクニカルサービスを不可欠の業務と考え対応できるお店。
 - ③アダルトなど客層の変化に的確に対応し、サービスマン、レジャー業としての認識が持てるお店。
 - ④ハード、ソフト両面からスポーツバイクを演出する店づくり、体質づくりのできるお店。
- の4条件が示されました。
- そして営業政策の最後として、5月から7月のスポーツバイクの最盛期に展開される拡販キャンペーンとして――
- ①全国のべ300会場場で予定される一大展示試乗会「ヤマハフェスタ」
 - ②「ポッケ&フォーゲル ダブルプレゼント」
 - ③8月末より実施予定の「ヤマハUSAツアー」
 - ④専門誌、一般誌を通じて精力的に展開する広告キャンペーン
- の4活動が紹介され、(YSP)みなさまのひととき大きな関心を集めていました。

大収穫のYSPミーティング

阪本商会・阪本正村長(兵庫県芦屋市)

新商品の試乗、新しい政策、新しい店舗とそれぞれ印象深いミーティングでした。特に商品では、XJ750AとE、乗りやすいビッグスポーツの登場で新しい層の開拓ができるでしょう。

またキャンペーンでは、USAツアー。これはぜひ参加したい。アメリカの店づく



り、ビッグショップをどのようにスムーズに演出し機能させているか？ その中でサービスマン関係をいかに効率よく組込ませたいと思います。

お客さまのコミュニケーションの場のあなすスポーツプラザをめざすウチとしては、欠かせないことでしょうかね!!

今こそ、蓄えた技術の蓄積を生かす時!



XJ750A E、
XV750スペシャル、
XJ400スペシャル
/D、RZ350……
SUGOロードコース

に話題の新商品を生かす時、
設けたホットな感触もさめやらぬ中、森永国彦
取締役第四技術部長より、興味深い新商品の
開発思想と今後の技術動向を紹介——

▼ヤマハの4サイクル技術の承襲をみれば、
今80年代前半は第三世代、これまで蓄えた実
力をもとにライダーが本質的に求めているフ
イーリング、メンタリティに思い切り応える
時が来た。いまこそ技術部門は、対応からチ
ヤレンジへ。を合言葉に、トップシエアへの
意志を固めている。

▼昨年来相ついで発表したニューモデルが高
い評価を得ている理由のひとつは、従来のモ
ーターサイクルにとらわれない形、いいかえ
れば開発に当る1人1人が自分がユーザーの

1人として欲しいバイクを考え、仕事を進め
ていることの成果だろう。

▼ヤマハは、個々のコンポーネントについて
数えればキリがないほどのファイナチャーを投
入し、差別化し、魅力づくりに取組んでいる
が、こうした技術革新は今後も限りなく続
くことに自信を深めている。

▼これからは、売りやすく売れる商品、燃費
をはじめ経済性の高い商品、安全性の高い商
品が求められよう。具体的には、走りに徹し
たスーパースポーツ、快適な安定感を重視し
たツーリングモデル、またビジネス用として
のコミューターが、よりはっきりとしたコンセ
プトで分化されてくるであろう。このいずれ
にもヤマハはこれまで以上にリーダーシップ
を発揮していく。そして、この結果としてユ
ーザーに喜んでもらえる商品を提供し、販売
店みなさまの繁栄につながることを確信して
いる。ご支援とご協力を!



XJ750Aで、Eで、XJ400スペシャルで、XVで
……新商品のみことなまでの走行性能を確認



安全活動は、 市民権確立の基盤づくり!



スポーツバイクの販
売にとって、年ごとに
重要性を高めている安
全運転推進活動。特に
自動二輪の事故死者が
増えている中で、(Y
S P)の役割を、ヤマハ安全運転推進本部・
角川広信本部長が説明——

▼昭和55年、二輪車の保有台数は1200万
台という大きな数にのぼっている。この中で
昭和45年以来減少をつづけていた交通事故死
者が昭和55年、10年ぶりに前年を上まわり、
中でも自動二輪が大きな伸び率を示してしま
った。この結果が、自動二輪免許試験の実技
強化、教習時間延長等につながっている。
▼1200万台の保有台数は、業界が一体と
なって取り組んできた需要創造活動の結果の
財産。この努力が、需要増→事故増→規制強
化のくり返しが消されてはならない。
▼このためにも、(Y S P)のみなさまには、



〈特集〉新しいスポーツの時代が始まる

この手で確かめた
新商品の魅力！

オートセクタースキヤマ
入野勝サービスマン主任(神奈川県小田原市)



XJ750EとXJ400スペシャルに特に興味深く試乗しました。特に「E」は、待望のマシンの登場という気持ちでいっぱいですね。これまでスペシャルでリードしてきたヤマハが、強烈なパンチ力の750ccを出した。シャフトのクセも全くない、足まわりも抜群、どんな走りにもしっかりと応えてくれる、ポジションもいいしネ。「A」はツーリング指向のゆったり派、「E」は走りを楽しむ本格派に、お客さまに合わせた売り分けられるので、また、新しいユーザーを広げられるでしょう。いまから楽しみです。



一段と磨きぬかれた新商品群に合わせて、トータルコーディネーションを考慮して同時開発の用品類ももりたくさん。附加価値の高いこれらの用品類は、店内クオリティのイメージアップにも効果的



特に①二輪車安全運転普及協会が推進している地域指導組織への積極参加②お店のスポーツクラブの健全育成③スポーツリーダー育成のためのヤマハライディングスクール活用の等をぜひおねがいしたい。
▼(YSP)に対し安全運転推進本部とモータースポーツ推進本部の協同事業として新しいモーターレクリエーションの普及を進めたいと考えている。よろしくご協力を！



↑「クオリティ・ショップ」にふさわしい品格のあるお店。展示されたモデルショップにはひととき大きな関心が寄せられていた

魅力の商品にピッタリのクオリティ・ショップ

山崎オート

山崎敏雄社長(東京都足立区)



待望のこれからのスポーツショップ(YS P)の登場というカンジですね。質の高い商品にぴったりの店舗。モデルショップをみると、明るくて開放的、外光を効果的に取り入れて、いままでにはないハイセンスなつくり。何よりも昼は昼、夜は夜で外部に強気にアピールできる魅力を備えた店舗だと思えますよ。うちも、今年は750ccシリーズを主力において販売を、と考えていますが、あの商品には、このくらいの店舗は当然必要でしょう。土地さえあれば、すぐにも出したい!



ミーティングの後は、なごやかな懇親パーティ。ロードコースを走り、くぬぎ山荘でのミーティングとパーティ、YSPのみなさんはヤマハのスポーツ施設 SUGO で有意義な1日を



部品供給の迅速化をめざして、この夏から全国的導入が予定されている業界初のドレスシステム。お店→ヤマハ営業所・特約店のパーツセンター→本社パーツセンターをオンラインで結び部品のオーダー、在庫確認などを処理するばかりでなく電々公社の提供するさまざまな情報も利用できる。写真左下がお店用の端末器。



YICSを装備して 話題のビッグスポーツ4機種一挙に新発売!

スポーツシーズンたけなわの5月、いよいよ話題のビッグスポーツ4機種の新登場!
XJ400スペシャル/XJ400D、XJ750A/XJ750E—400cc
と750ccというビッグバイクの2大市場を完全に席巻し、さらに昨年の250ccシ
リーズやXJ400から今春のXV750スペシャルへとつづく「ヤマハスポーツ
チーム」を一気にもりあげる強力な新商品群です。

ここに各モデルにもり込んだヤマハの主張、先進のテクノロジーをまとめました。
トップグラフィアにご紹介のYICSともども、二読のうえ、積極的な販売活動をご展
開ください。

スーパースペシャル XJ400スペシャル

より完成度を高めたスペシャルスタイルに スパルタンなスーパースポーツの走り

Q まず「XJ400スペシャル」の開発が企
画された意図から—

A ご承知のとおりヤマハは、「スペシャル」の
リーダーとして圧倒的な市場評価を集めて
いるわけですが、それをトップセラーモデ
ルXJ400に生かし、750ccの車格、
高級感を400ccスペシャルに実現しよう、
というのが「XJ400スペシャル」の開
発意図です。同時にYICSを搭載して高
性能と省エネルギーを両立させたことは、
他のニューXJと同様です。

Q より具体的な商品の狙いは?

A なんと、いってもスペシャルの絶対条件であ
る高級イメージを徹底的に追求したこと、
750ccなみの車格と高級感です。そして
走行性能の面では、中低速トルクをアッ
プして乗りやすさを高める一方、「スーパース
ペシャル」として、ハードな走りも楽しめ

るモデルづくりがなされているということ
です。文字通りミドルクラス・スペシャル
の頂点を極めるモデルを狙っています。

Q スーパースペシャルという性格づけは初め
てのものだが?

A そうです。個性的なアメリカン・ホースパ
ックライディングのゆとりあるスタイルで
カンファタブルに走るといのが「スペシヤ
ルの走りですが、こうした余裕、快適さの
中にもスーパースポーツなみの走りの機能
をもり込んだところに、スーパースペシヤ
ル」のいわれがあります。

XJ400の45馬力に対し、このスペシヤ
ルは42馬力ですが、中低速トルクは太く加速
感は十分。ワインディングロードでもXJ
400に負けないハードなコーナリング性
能を発揮するというわけです。

YICSで28%もの燃費アップ 750ccなみの車格ながら コンパクトなミドルスペシャル

Q では個々の特徴について、まずエンジン関
係から—

A エンジンは、XJ400と同一構成の背面
ダイナモナローなDOHC・4気筒。最
高出力は、XJ400よりも3馬力押えた
42馬力。セッティングも中低速型として扱
いやすさを高めています。

このエンジンで特筆されることは、YICS
Sの装備による燃費性能の向上、定地走行
テスト値で54km/lとXJ400に比べ
つに28%ものアップを果しているのです。
また2気筒なみのナローなエンジンのメリ
ットは、XJ400でも定評のものですが
この「XJ400スペシャル」では、その
特徴をフルに活かし、47・5度という十分
なバンク角を確保して、スーパースペシヤ

ル。ぶりを発揮しています。

Q 車体関係でまず先に印象づけられるのが7
50ccなみの大きな車格。

A フレームはXJ400と同一構成の高剛性
ダブルクレードル型でエンジンマウントも
同じラバーマウント式として振動低減を果
しています。基本設計の段階から低シート
高を考慮し、スペシャルモデルとしても有
効なパイプワークの利点を十分に活かした
スタイルになっていきます。

また、130/90-16と750ccクラスと
同サイズの超扁平ワイドタイヤをリヤに採
用。フロントにも3・25-19の大径タイ
ヤを装備したほか、XV750スペシャル
と同じイタリックキャストホイールを採用、
2球式テールランプもXVと共通とするな
ど、ずい所に750ccと同一の仕様を施し
ています。

Q ハンドル、タンク、シートなどスペシャル
スタイルを決定づける各部も、すべて
新設計のものか?

A そうです、まずハンドルからいえば最新設
計のものか?



新開発のオハ
フセットは、一
セトルは、ロ
コンドルは、
コラ生をき
車感すな
出ポイン



コーナリングが楽しくなる! こんなにも走るスペシャルが! とSUGOロードコースでのYSPミーティング試乗会でも話題を集めた「XJ400スペシャル」

計のオフセットハンドルとして乗り手の手応えを一層確かなものとしていること。これは写真のようにハンドルクラウンのサポート部をオフセットしたもので、この結果乗り手の手もとまでの距離は同じでも、自体の長さは短かくて、剛性も一段と高められているのです。

Q フューエルタンクもかなり先鋭的だが、このデザイン的な狙いは？

A このタンクのデザインは、ウインドフロータイプアドロップ型と名づけました。ティアドロップが風の流れに乗って美しく伸びたかたち。タンクの後方が細く伸びサイドカバーへと流れる美しいダウングラインを強調したわけです。

Q これもわが国初の本格的なバケットタイプのキング&クイーンシートです。三層構造で十分なクッション性能を持ちながら最適なシート厚として乗り心地と安定した着座感を生み出しています。

当然オフセットハンドル、ウインドフロー・ティアドロップタンクにあわせて大型バケットシートとフロントレスト位置も設定されています。フロントレストは従来のスペシャルよりもやや後方に配し、スポーツ走行の走りにも十分対応できるものとなりました。さらに乗車感については、750ccなみの堂々たる車格、スタイリングを持ちながら扱いやすいエンジン特性、スリムな車体構成、760mmという超低シート高、そして180kgの軽い車両重量などの理想的なバランスによってきわめてコン

トローラブルにまとめ上げていることも「XJ400スペシャル」の大きな特徴です。最後にスポーツスペシャルとしての充実した装備、安全への配慮を整理してみると「XJ400スペシャル」では、次の各項がおもなセールスポイントとしてリストアップできます。



新設計のコンビネーショングラブバー。シート下は便利な小物入れ(キー付き)、XVと同じ2球式テールランプ、丸型フラッシュランプはフレキシブルステア……安全設計や親切設計もスポーツスペシャルならではのものです。

- 180W、50W/40Wの大型ヘッドランプ。
 - 2球式テールランプ
 - 丸型フラッシュランプとフレキシブルランプステア
 - 新設計の角型防振バックミラー
 - ゴージャスなコンビネーショングラブバー
 - 斬新なクリフカットマフラー
 - 豪華なアルミマフラーステー
 - 便利なキー付トランク型小物入れ
- ※なお、オプションとして60W/55Wのハロゲンランプも用意しましたが、これは工場注文装備品ではありません。

走りの機能と低燃費をあわせに向上 グランドスポーツバイク XJ400D

Q 「XJ400スペシャル」の「スポーツスペシャル」というコンセプトに対して、従来のXJ400に4本マフラーを装備したこの「XJ400D」の商品の狙いは？

A ご承知のとおりXJ400は、昨年6月下旬の発売以来、自動二輪クラスの月次販売台数で連続第1位という圧倒的な人気を集めているわけですが、このトップセラーモデルとしての「XJ400」の地位を不動のものにし、日毎に多様化するユーザーのニーズに対応するのが、この「XJ400D」であり、「XJ400スペシャル」でもあるのです。



↑クリフカットの4本マフラーが精悍なXJ400Dのリヤビュー



大光量ハロゲンヘッドランプも印象的なニューXJ400D



↓400ccクラスで唯一の4本マフラー。4-2-2-4排気システムとして消音効果を高めている

D」の商品性の差とは？

A スポーツバイクXJ400の魅力は、なんといってもクラス最高のパフォーマンス、抜群の動力性能、750ccなみのダイナミックなフォルムと充実した装備、そして250ccなみの扱いやすさです。

この「XJ400D」では、こうした魅力をもそのまま継承しながら走りの機能をより高度に追求し、同時に省エネルギーという時代の要請に添って大幅な経済性向上を実現させているのです。

具体的には新技術、新設計の項目について、まずYICSを装備した新エンジンから……

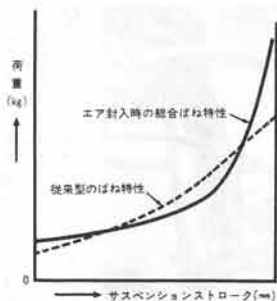
A 精悍なブラックコーティングのDOHC・4気筒エンジンは、毎分1万回転で45馬力と、XJ400と同一の高性能を誇るものですが、これもYICSの採用によって52km/h(60km/h定地走行テスト値)とXJ400比23%もの燃費性能をアップさせ、文字通り「ハイパワー&エコノミー」を両

立させています。

Q つぎに走りの機能の向上の点では、第一にサスペンションのグレードアップが考えられるが？

A サスペンションは、前後とも「XJ750A/E」と共通のハイメカニズムを採用し、走行安定性を一段と高めています。

つまりフロントはエアフォーク。これは図のように低中荷重時にはバネ定数を小さく抑えてソフトな乗り心地を確保する一方、高荷重時には十分なバネ定数を確保してクッションのボトムリングを防





SUGO ロードコースでラグジュアリーなスーパースポーツぶりを存分に発揮する XJ750A

コンピュター・クルーザー XJ750A スーパーファイター XJ750E 750ccを超え750ccの2機種!

Q リヤサスペンションは、クッション上部に調整用ダイヤルが見えるが?
A そうです。リヤクッションも新設計のアジヤスタブル・ダンパー式を採用しています。これはライダーの好み、走行条件に合わせて4段階にダンピング量を調整できるもの。ユニット上部のダイヤルを回転することにより、連結されたロッド先端にある4種類のオリフィス(孔)を任意に選択し、通過するオイルの抵抗を変えてダンピング量を調整するわけです。

Q ハロゲンヘッドランプも新しい装備だ—
A XJ4000ではオプションであったハロゲンヘッドランプをこの「XJ4000D」では標準装備して商品性を高めています。

65W/55Wという大光量で、夜間はもちろん雨、霧、雪などの悪条件下でも安全性の高いものです。

Q そしてスタイリング上での最大の特徴である4本マフラー……
A これは特にグラインドスーパースポーツとしてのイメージアップを狙ったもので、先端をクリフカットしてシャープな走りを表現しています。

このほかフロントのディスクブレーキに設けたスパイラル状の長孔も、バネ下重量の軽減やブレーキング時の不快音防止の効果とともに、一段と精悍でスポーティなイメージを高めています。

さらに角型バックミラーも新採用のもので、これはステーに中空パイプを使用して防振効果を高め安全性を向上させたものです。

Q 話題の750ccスーパースポーツ「XJ750A」と「XJ750E」の2機種は、その鮮明なコンセプトを対比させながら内容をみてみよう。まずは基本的な開発の意図から?

A 750ccを超える750cc、というのがこの2モデルに共通した開発テーマです。これはどういうことかというところ……

●絶対的な速さ ●風格、デザイン ●充実した装備 ●高度な安全性 ●ハイメカニズム

——といったオーバー750ccをも含めたビッグバイクに要求される条件を完全に満たし、しかも ●機動性 ●市場性といった、国内最大モデルとして要求される条件を備えたモデルづくり、ということ。

Q そうした開発の意図を具体的に絞り込んでいくと、どのような点が商品の狙いとなるのか?
A 第1にいえることは、スーパースポーツとしてのトータルバランス。走る、曲がる、止まる、という基本機能の理想的なバラ

Q 前者が「E」であり、後者が「A」である? そうです。ひたすら走り追求したスーパースポーツと先進的なメカニズム、デザインを存分にもり込んだニューウェイブのラグジュアリスポーツというわけです。

Q そうした商品の狙いを具体化していく過程で極力妥協を排するために、複数モデルを開発したわけですか。どちらもスーパースポーツではあるのですが、走りの基本機能を徹底追求したモデルと、性能、機能、デザイン、スタイルのすべてにより高い附加価値を求めたモデルです。

Q それらがXJ750の設計の狙いともなっているわけだが、AとEの2つのタイプに分かれているのは?
A こうした商品の狙いを具体化していく過程で極力妥協を排するために、複数モデルを開発したわけですが、走りの基本機能を徹底追求したモデルと、性能、機能、デザイン、スタイルのすべてにより高い附加価値を求めたモデルです。



●218kgの軽い重量

●世界初のアジャスタブルアンチノーズダイブ機構

●イタリックキャストホイール

●ダンパーアジャスタブルリヤクッション

●豪華なブラックレターチューブレスタイヤ

●Wディスクブレーキ

●ブラックレターチューブレスタイヤ

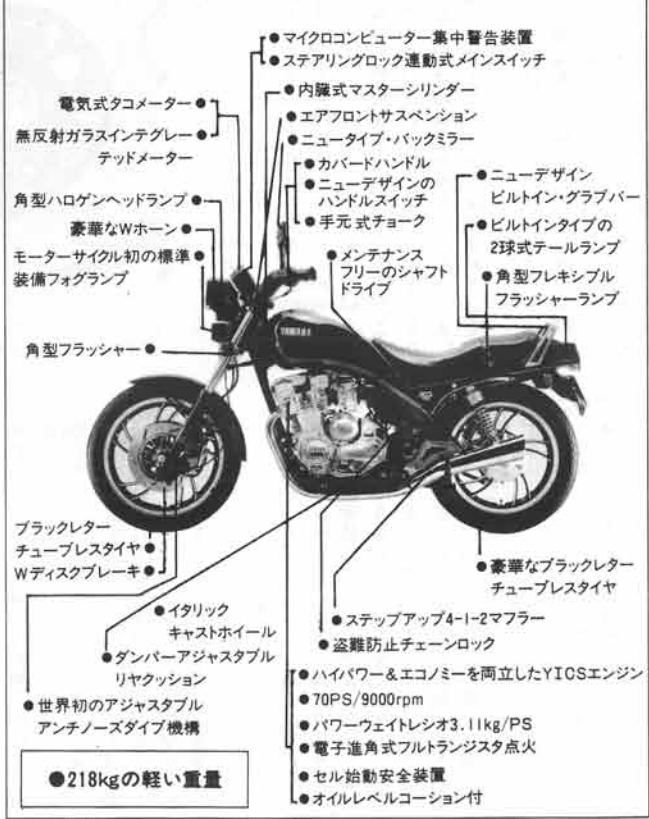
●Wディスクブレーキ

●23%アップの燃費性能を両立

●両車のコンセプトのちがいが明確になったところで、エンジン関係から個々の特徴を挙げてみよう—

●新開発のDOHC・4気筒は、両タイプとも共通で65×56・4mmの748cc。毎分9千回転で70馬力と国産最高のパワーを発揮。一方、燃費性能も42km/ℓ(60km/h)と

XJ750Aのおもなセールスポイント



〈特集〉新しいスポーツの時代が始まる



3月28日には袋井ヤマハコースでXJ750E/XJ400Dの専門誌発表試乗会が開かれ、XJ750Eのハードな走りに話題が集中。写真はテスト走行中の、「ライダーズクラブ」誌根本編集長

従来の3気筒モデルに対して23%もアップ。ヤマハの先進技術YICSによって、ハイパワーと省エネを両立させています。XJ750Eの基本構成は、XJ400、XJ650スペシャルと共通か？

A独自の背面ジェネレーター式のナローなエンジンにはXJシリーズに共通のもの。またミドルギヤをクランクケース内に一体化した軽量・コンパクトなシャフトドライブ機構も、XJ650スペシャルやXV750スペシャルと共通です。ただし、出力特性は中低速トルクの大きいフラット・トルク型となっています。

これは、新開発の4-1-2方式の排気系のクロス部分を2段階構造とし理想的なチャンバー容積を確保したことなどによって実現したものです。

アジャスタブルアンチノーズタイプ機構にマイクログコンピュータ集中警告モニター(XJ750A)

QまたXJといえば、クラス最高のハイパワーと軽い車重、つまり抜群のパワーウェイトレシオに象徴される強烈な瞬発力が人気のマトともなっているが？

A軽量・コンパクトなニューエンジンはじめ各部の徹底した軽量化によって、最も先進的なハイメカニズムを存分に採用しながらも「XJ750A」が218kg、「XJ750E」が215kgという驚異的な軽量化を実現しています。この結果パワーウェイトレシオは、それぞれ3・11kg/PS、3・07kg/PS、もちろん国産最少のパワーウェイトレシオ。卓越した走り、軽快なハンドリングそして強烈な瞬発力……文字通りスポーツにふさわしいものです。

Q操縦性、走行安定性の面はどうか？

A両モデルともフロントにエアとコイルスプリング併用式のフロントフォーク、リヤに

化を実現しています。この結果パワーウェイトレシオは、それぞれ3・11kg/PS、3・07kg/PS、もちろん国産最少のパワーウェイトレシオ。卓越した走り、軽快なハンドリングそして強烈な瞬発力……文字通りスポーツにふさわしいものです。

Q操縦性、走行安定性の面はどうか？

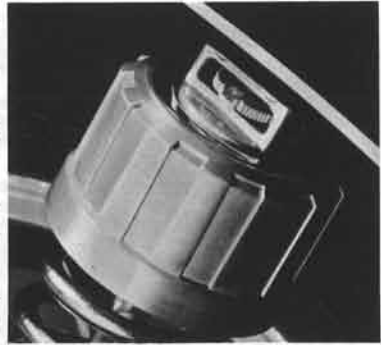
A両モデルともフロントにエアとコイルスプリング併用式のフロントフォーク、リヤにダンパーアジャスタブルタイプのクッションを採用しています。

この前後の充実したサスペンションは、高剛性の高張力鋼管ダブルクレードルフレーム、軽量イタリック・キャストホイール等によるバネ下重量の軽減、4-1-2方式のステップアップマフラーによる47度の大きなバンク角……などのマツチングによって、高速クルージング時の卓越した走行安定性とワインディングロードでの軽快な操縦性能を発揮するものです。(詳細はXJ400Dの項参照)

Qそして、「XJ750A」には、さらにアンチノーズタイプ機構が採用されている。

Aそれも単純なアンチノーズタイプではなく、ヤマハ独自のアジャスタブル式です。アンチノーズタイプ機構は、急制動時の車体の前沈み現象を減少させるもので、ブレーキング時の後輪荷重の減少を抑え、後輪のグリップ力減少を防いで早期ロックを防止するばかりでなく車体の大きな挙動変化を抑制し、サスペンションのソフトなセッティングを可能としています。

この結果、ライダーには良好な乗り心地が得



ゴージャスなコスメキャップ付のアジャスタブル・リヤダンパー。上部のダイヤルによってダンパー量を4段階に調整可能

QまたXJといえば、クラス最高のハイパワーと軽い車重、つまり抜群のパワーウェイトレシオに象徴される強烈な瞬発力が人気のマトともなっているが？

A軽量・コンパクトなニューエンジンはじめ各部の徹底した軽量化によって、最も先進的なハイメカニズムを存分に採用しながらも「XJ750A」が218kg、「XJ750E」が215kgという驚異的な軽量化を実現しています。この結果パワーウェイトレシオは、それぞれ3・11kg/PS、3・07kg/PS、もちろん国産最少のパワーウェイトレシオ。卓越した走り、軽快なハンドリングそして強烈な瞬発力……文字通りスポーツにふさわしいものです。

Q操縦性、走行安定性の面はどうか？

A両モデルともフロントにエアとコイルスプリング併用式のフロントフォーク、リヤにダンパーアジャスタブルタイプのクッションを採用しています。

この前後の充実したサスペンションは、高剛性の高張力鋼管ダブルクレードルフレーム、軽量イタリック・キャストホイール等によるバネ下重量の軽減、4-1-2方式のステップアップマフラーによる47度の大きなバンク角……などのマツチングによって、高速クルージング時の卓越した走行安定性とワインディングロードでの軽快な操縦性能を発揮するものです。(詳細はXJ400Dの項参照)

Qそして、「XJ750A」には、さらにアンチノーズタイプ機構が採用されている。

Aそれも単純なアンチノーズタイプではなく、ヤマハ独自のアジャスタブル式です。アンチノーズタイプ機構は、急制動時の車体の前沈み現象を減少させるもので、ブレーキング時の後輪荷重の減少を抑え、後輪のグリップ力減少を防いで早期ロックを防止するばかりでなく車体の大きな挙動変化を抑制し、サスペンションのソフトなセッティングを可能としています。

この結果、ライダーには良好な乗り心地が得

QまたXJといえば、クラス最高のハイパワーと軽い車重、つまり抜群のパワーウェイトレシオに象徴される強烈な瞬発力が人気のマトともなっているが？

A軽量・コンパクトなニューエンジンはじめ各部の徹底した軽量化によって、最も先進的なハイメカニズムを存分に採用しながらも「XJ750A」が218kg、「XJ750E」が215kgという驚異的な軽量化を実現しています。この結果パワーウェイトレシオは、それぞれ3・11kg/PS、3・07kg/PS、もちろん国産最少のパワーウェイトレシオ。卓越した走り、軽快なハンドリングそして強烈な瞬発力……文字通りスポーツにふさわしいものです。

Q操縦性、走行安定性の面はどうか？

A両モデルともフロントにエアとコイルスプリング併用式のフロントフォーク、リヤにダンパーアジャスタブルタイプのクッションを採用しています。

この前後の充実したサスペンションは、高剛性の高張力鋼管ダブルクレードルフレーム、軽量イタリック・キャストホイール等によるバネ下重量の軽減、4-1-2方式のステップアップマフラーによる47度の大きなバンク角……などのマツチングによって、高速クルージング時の卓越した走行安定性とワインディングロードでの軽快な操縦性能を発揮するものです。(詳細はXJ400Dの項参照)

Qそして、「XJ750A」には、さらにアンチノーズタイプ機構が採用されている。

Aそれも単純なアンチノーズタイプではなく、ヤマハ独自のアジャスタブル式です。アンチノーズタイプ機構は、急制動時の車体の前沈み現象を減少させるもので、ブレーキング時の後輪荷重の減少を抑え、後輪のグリップ力減少を防いで早期ロックを防止するばかりでなく車体の大きな挙動変化を抑制し、サスペンションのソフトなセッティングを可能としています。

この結果、ライダーには良好な乗り心地が得



XJ750Aのエアフロントフォークにはヤマハ独自のアジャスタブル・アンチノーズタイプ機構も備えて安全性、快適性をアップ

XJ750Eのおもなセールスポイント

- 電気式タコメーター
- 超大型200φ12V60W/55Wハロゲンヘッドランプ
- Wホーン
- ブラックレターチューブレスタイヤ
- 穴あきダブルディスクブレーキ
- イタリックキャストホイール
- ステアリングロック運動式メインスイッチ
- エア・フロントサスペンション
- 手元式チョークレバー
- 低シート高とスリムなシート
- 盗難防止チェーンロック
- ダンパーアジャスタブルリヤクッション
- ブラックレターチューブレスタイヤ
- メンテナンスフリーのシャフトドライブ
- リンク式チェンジレバー
- 4-1-2ステップアップマフラー
- 豪華なアルミマフラーステー
- ハイパワー&エコノミーYICSエンジン
- 70PS/9000rpm
- 電子進角式フルトランジスタ点火
- セル始動安全装置
- オイルレベルコーション付
- パワーウェイトレシオ3.07kg/PS国産最少

●215kgの軽い重量

A世界に先けてマイクログコンピュータを使用した液晶表示の集中警告モニターを採用したのです。

スピードメーターとタコメーターの間にセ

このほか「XJ750A」は、新設計の角型ハロゲンヘッドランプ、モーターサイクル初の標準装備のフォグランプなど、また「XJ750E」も超大型ハロゲンヘッドランプや電気式タコメーターなどもりだくさんの先進技術、充実した装備がもりだくさんです。別表のおもな特徴をご参照ください。

ットした警告モニターには、上から●サイドスタンド収納忘れ●ブレーキ液量●エンジンオイル量●バッテリー液量●ヘッドランプ断線●テールランプ断線●燃量計……の各ウォーニングがセッ断され、異常の有無を警告するシステムです。

この集中モニターシステムは、モーターサイクルでは車体構成上きわめて困難とされていたわけですがマイクログコンピュータを利用してこの先進のメカニズムを実現した。これにより、ライダーは仕業点検時や走行中に異常をすみやかに発見することができるといって、安心して走行を楽しむことができるというわけです。(カラーページ参照)

人気最高のRXに80c.c.新登場!

RX80 Special



- ニューヤマハブラック
- ブリリアントレッド



もっか人気最高の「RX50スペシャル」のすぐれた商品性をそのままに、中間排気量ならではのメリットをプラスした本格スペシャル『RX80スペシャル』の新発売です。50ccと80ccで選択の幅をさらに広げたベストセラー「RXスペシャル」。どうぞお客さまにあわせておすすめください。

RX80のセールスポイント

- 80cc.クラス初の本格スペシャル
- 125cc.なみの車格、725mmの超低シート高、81

kgの軽い車重、余裕あるアメリカン・ホースバックライディング・ポジション、パワフルで扱いやすいアルミシリンダーのニューエンジン……が生み出すゆとりある走り

- 油圧式ディスクブレーキ、一体式傾斜メーター、キャストホイール、パワーレバーなど充実した装備。750cc.なみの高級塗装、メッキマフラーなど高品質、高級感
- ロングストロークの前後サスペンションによるソフトな乗り心地
- 定評の親切設計と安全装備

主な仕様諸元

- 全長1950mm ●全幅805mm ●全高1110mm
- 軸間距離1230mm ●乾燥重量81kg ●シート高725mm ●2サイクル・トルクインダクション・単気筒・79ccエンジン ●最高出力8.1PS/7500rpm ●最大トルク0.78kg-m/7000rpm ●始動方式プライマリーキック
- 点火方式CDI ●変速機リターン式5段
- 燃料タンク容量8.0ℓ ●オイルタンク容量1.1ℓ ●フレーム鋼管セミダブルクレードル ●ブレーキ(前)油圧式ディスク(後)機械式ドラム ●タイヤ(前)2.50-19-4PR(後)3.50-16-4PR

ゴージャスにmidnight仕様2機種、限定販売

XJ650 Special



POCKE QA50



50cc.から750cc.まで、ヤマハスポーツシリーズのめざましいラインアップの充実にあわせて、特別仕様の2機種を限定販売いたします。その名も「ミッドナイト仕様」の「XJ650スペシャル」と「ポッケQA50」。

ニューヤマハブラックとゴールドのコントラストもゴージャスな2機種は、塗装部をハンドメイドで入念に塗りあげ、艶出しし、メッキ部を最新技術によって仕上げた、ヤマハクラフトマンシップの結晶。たけなわのスポーツバイクシーズンに、話題を呼ぶ豪華仕様車の発売です。

スーパースペシャル

XJ400 Special



●ニューヤマハブラック

能を秘めたXJ400Special。より高度に“走り”の機能を追求したXJ400D。
2モデルを加えて、ミドルスポーツ最強のラインアップの完成です。

●ニュールビーレッド



XJ400Special仕様諸元

- 全長2145mm ●全幅830mm ●全高1135mm ●シート高760mm ●軸間距離1420mm ●最低地上高160mm ●乾燥重量180kg
- 舗装平坦路燃費54km/ℓ(60km/h) ●登坂能力28° ●最小回転半径2.4m ●制動停止距離14m(50km/h)
- 4サイクル・DOHC・並列4気筒・398cc ●内径×行程51×48.8mm ●圧縮比9.5 ●最高出力42PS/10000rpm ●最大トルク3.4kg-m/8000rpm ●始動方式セル式 ●潤滑方式強制圧送ウエットサンプ
- エンジンオイル容量2.9ℓ ●燃料タンク容量13ℓ ●キャブレターBS28 ●点火方式電子進角式フルトランジスタ ●点火プラグD8EA(NGK) X24ES-U(電装) ●バッテリー12V12AH
- 1次減速(比)チェーン・ギヤ(2.849) ●2次減速(比)チェーン(2.812) ●クラッチ湿式多板式 ●変速機リターン式6段変速 ●変速比①2.733 ②1.947 ③1.545 ④1.240 ⑤1.035 ⑥0.900 ●フレーム鋼管ダブルクレードル ●キャスト28° ●トレール114mm ●タイヤ(前)3.25S-19-4PR(後)130/90-16-67S ●ブレーキ(前)油圧式シングルディスク(後)機械式ドラム ●懸架方式(前)テレスコピック(後)スイングアーム ●緩衝方式(前後とも)オイルダンパー+コイルスプリング ●ホイールトラベル(前)150mm(後)100mm
- ヘッドランプ12V50W40W ●テールランプ12V8W ●ストップランプ12V27W ●フラッシャーランプ12V27W ●マーカーランプおよび各種パイロットランプ類12V3.4W

グランド・スーパースポーツ

XJ4000



●ニューヤマハブラック

750ccなみのスペシャル・スタイリングの中に、スーパースポーツの強烈な走行性
自動二輪のトップセラーXJ400は、個性ゆたかな

XJ400D仕様諸元

- 全長2060mm ●全幅760mm ●全高1130mm ●シート高785mm ●軸間距離1405mm ●最低地上高155mm ●乾燥重量180kg
- 舗装平坦路燃費52km/ℓ(60km/h) ●登坂能力28° ●最小回転半径2.3m ●制動停止距離14m(50km/h)
- 4サイクル・DOHC・並列4気筒・398cc ●内径×行程51×48.8mm ●圧縮比9.5 ●最高出力45PS/10000rpm ●最大トルク3.5kg-m/8000rpm ●始動方式セル式 ●潤滑方式強制圧送ウェットサンプ
- エンジンオイル容量2.9ℓ ●燃料タンク容量16ℓ ●キャブレターBS28 ●点火方式電子進角式フルトランジスタ点火 ●点火プラグD8EA(NGK)X24ES-U(電装) ●バッテリー容量12V12AH
- 1次減速(比)チェーン・ギヤ(2.849) ●2次減速(比)チェーン(2.875) ●クラッチ湿式多板式 ●変速機リターン式6段変速 ●変速比①2.733②1.947③1.545④1.240⑤1.035⑥0.900 ●フレーム鋼管ダブルクレードル ●キャスト27° ●トレール109mm ●タイヤサイズ(前)3.00S19-4PR(後)110/90-18 61S ●ブレーキ(前)油圧式ダブルディスク(後)機械式ドラム ●懸架方式(前)テレスコピック(後)スイングアーム ●緩衝装置オイルダンパー+コイルスプリング(前後とも) ●ホイールトラベル(前)150mm(後)100mm
- ヘッドランプ12V60W55W(ハロゲン) ●テールランプ12V8W ●ストップランプ12V27W ●フラッシュャーランプ12V27W ●マーカーランプおよび各種パイロットランプ類12V3.4W

●クリスタルシルバー



コンピューター・クルーザー

XJ750A



●ニューヤマハブラック

XJ750E。先進のヤマハ技術を結集した
のXV750スペシャルに、画期的なニュー
でも最強のラインアップの完成です。



●ブリリアントレッド



XJ750A仕様諸元

- 全長2135mm ●全幅860mm ●全高1120mm ●シート高770mm ●軸間距離1445mm ●最低地上高140mm ●乾燥重量218kg
- 舗装平坦路燃費42km/ℓ(60km/h) ●登坂能力30° ●最小回転半径2.6m ●制動停止距離15m(50km/h)
- 4サイクル・DOHC・並列4気筒・748cc ●内径×行程65×56.4mm ●圧縮比9.2 ●最高出力70PS/9000rpm ●最大トルク6.2kg-m/7000rpm ●始動方式セル式 ●潤滑方式強制圧送ウェットサンプ
- エンジンオイル容量3.5ℓ ●燃料タンク容量19ℓ ●キャブレター-HSC32 ●点火方式電子進角式フルトランジスタ ●点火プラグBP7ES(NGK)W22EP(電装) ●バッテリー12V14AH
- 1次減速(比)ギヤ(1.672) ●2次減速(比)シャフト(1.361/1.055/2.909) ●クラッチ湿式多板式
- 変速機リターン式5段変速 ●変速比①2.187 ②1.500 ③1.153 ④0.933 ⑤0.812 ●フレーム鋼管ダブルクレードル ●キャスト28° ●トレール114mm ●タイヤ(前)3.25H19-4PR(後)120/90-18 65H
- ブレーキ(前)油圧式ダブルディスク(後)機械式ドラム ●懸架方式(前)テレスコピック(後)スイングアーム ●緩衝方式(前)オイルダンパー+エア+コイルスプリング(後)オイルダンパー+コイルスプリング
- ヘッドランプ12V60W55W(ハロゲン) ●テールランプ12V8W ●ストップランプ12V27W ●フラッシュランプ12V27W ●マーカーランプおよび各種パイロットランプ類12V3.4W

スーパーファイター
XJ750E



●クリスタルシルバー

ひたすら「走り」の基本機能を追求したXJ750A。話題の新時代のステータスモデルXJ750A。話題のモデル2機種を加えて、750ccクラス

XJ750E仕様諸元

- 全長2175mm ●全幅725mm ●全高1135mm ●シート高780mm ●軸間距離1440mm ●最低地上高140mm ●乾燥重量214kg
- 舗装平坦路燃費42km/ℓ(60km/h) ●登坂能力31° ●最小回転半径2.4m ●制動停止距離15m(50km/h)
- 4サイクル・DOHC・並列4気筒・748cc ●内径×行程65×56.4mm ●圧縮比9.2 ●最高出力70PS/9000rpm ●最大トルク6.2kg-m/7000rpm ●始動方式セル式 ●潤滑方式強制圧送ウェットサムプ ●エンジンオイル容量3.5ℓ ●燃料タンク容量19ℓ ●キャブレターHSC32 ●点火方式電子進角式フルトランジスタ ●点火プラグBP7ES(NGK)W22EP(電装) ●バッテリー12V14AH
- 1次減速(比)ギヤ(1.672) ●2次減速シャフト(1.361/1.055/2.909) ●クラッチ 湿式多板式 ●変速機リターン式5段変速 ●変速比①2.187②1.500③1.153④0.933⑤0.812
- フレーム鋼管ダブルクレードル ●キャスト28° ●トレール115mm ●タイヤ(前)3.25H19-4PR(後)120/90-18 65H ●ブレーキ(前)油圧式ダブルディスク(後)機械式ドラム ●懸架方式(前)テレスコピック(後)スイングアーム ●緩衝方式(前)オイルダンパー+エア+コイルスプリング(後)オイルダンパー+コイルスプリング
- ヘッドランプ12V60W55W(ハロゲン) ●テールランプ12V8W ●ストップランプ12V27W ●フラッシュランプ12V27W ●マーカーランプおよび各種パイロットランプ類12V3.4W

●ブリアントレッド



風がおる5月、いよいよ本格的な夏商戦のスタートです。
この夏の話はスクーター。焦点はパッソル、パッソルD、
パセッタ、パッソーラ、ベルーガと勢ぞろいしたヤマハスク
ーター・フルラインアップ。

4月下旬からは、ここにご紹介するスポーツスクーター「パ
セッタ」のマス広告活動もスタート。豊富にそろった夏キャン
ペーン用ツールを駆使して、夏商戦のスタートダッシュを
どうぞ！



●パセッタPOP

レックシールドにたすきがけて、展示車をイメージアップ

●ヤマハスクーター
シーリングPOP



●スウィング・
アイキャッチャー

ウィンド用に、ドア用に、さ
まざまにお使いいただけるス
ウィングアイキャッチャー



●パセッタ・ハンドルPOP



●パセッタのほり



●壁面POP

いい風 No.1 スクーターはヤマハ

パセッタも新発売。フルラインアップ・ヤマハスクーターで夏商戦へスタートダッシュ!



◎パセッタ・カタログ

◎パセッタ新発売テレビCM



スポーツ・スクーター、ヤマハから。



sports scooter pasetta

YAMAHA **パセッタ** 新発売

標準価格 ¥32,000 (税別) 送料 ¥3,000

◎パセッタ・ポスター



◎ヤマハスクーター・フルラインナップちらし



◎パセッタ
新発売雑誌広告

Yamaha Showroom



厳しい海との闘いから始まったヤマハのボート開発は、ヨット、和船、漁船とつぎつぎに商品パビリエーションを拡大し、いまや世界最大の年間生産隻数を誇るまでになっています。

中でも昭和45年から日本の津々浦々に送り出されたヤマハ漁船は、じつに200艇種、約3万隻。高性能、高品質がありをいかなく発揮して沿岸漁業に活躍しています。そし

て、その大きな実績から、いまでは沿岸漁業の振興に組織む世界の国々には輸出され、漁業生産性の向上と水産資源の活用に大きく貢献しています。

話のバツ



●悪質スピード違反は即逮捕

暴走族など無謀運転による交通死亡事故の激増に手を焼いた警視庁は、過去に免許停止などの行政処分を受けたドライバーが、極端で、無謀なスピード違反をした場合(60キロ以上のオーバー)、原則として道交法違反現行犯で逮捕する方針を決めました。

これまで交通違反による逮捕は、酒酔い運転、死亡事故を起こしたドライバー、常習無免許ドライバーなどに限られていましたが、4月6日の春の交通安全週間から適用されています。

すでに4月11日には、第一号の逮捕者が出ています。発表によれば、逮捕された男性は20才の調理師で、59キロオーバーとか。以前に免許停止の行政処分を受けており、現行犯で逮捕されたもの。とかく季節も良いこれからは、ついついスピードも上がりがち、どうぞくれぐれもご用心!

●北京でもバイクブーム

昨今、中国は北京市民のオートバイ熱はすさまじく、オートバイ党は年々増える一方のことです。

新華社によりますと、人口900万人の北京市では、自転車は通勤の重要な足でおよそ300万台。しかし、今年はこのうち5000台までがオートバイに変わったということです。

日本では、買い物やレジャーなど多用途に乗れ、女性に圧倒的人気を持つ原付車は比較的価格で購入できますが、中国ではまだまだお高いようであり、なかなかでも自転車の5倍くらいのお値段とか……。

現在中国ではバイクに免許証は不要で、格好良さや機動性がかわれ、特に若者の間でウナギ昇りの人気。生活レベルの向上や貯蓄の増加で、バイクを買う人は今

後も増えそうという事です。
ちなみにバスとトロリーは2500台、タクシーは2000台しかないといいますが、市民のオートバイ熱もわかるというもの。

●ペルーガが友情出演

「フアッションとアクションが出違ったら、時代が楽しく見えてきた」というわけで、本格スクーター・ペルーガが4月に行なわれたオンワードのマッケンジー・フェアに友情出演しました。
というのもペルーガとマッケンジーは、



ほお、ブイツイン!?

ハイセンスなイメージがピッタリというわけで、スーツ売り場に登場となったわけ。カラーはもちろんレインブルー。マッケンジーカラーのブルー・インプレッションとピッタリマッチし、会場の注目を集めていました。

●ユーモラスな誤字、当て字

遺産争族(相続)、歩行者憂(優)先、忠犬(中堅)幹部など、誤字・誤植が思いがけないユーモラスな効果を生み出す場合がありますね。
ある本で、禪の大家である鈴木大拙氏、

「私達は結局円(縁)がなかった」「貴女の肉質(筆)に接し……」

●ロトリ目、キャンバスでもカタログ時代

もはやユニークな情報、趣好をこらしたメッセージがなければ即クズカゴ行といわれるほどシブリアなメディアがチラシ。

この4月、新入生でにぎわう各大学キャンパスでは、恒例のクラブやサークルの新会員募集活動が展開されていますが、ここで特に目立っていたのが、勧誘

ツールのビジュアル化。ガリ版、ビラは遠い昔の話、チラシも小さなB6サイズで、主役はなんといってもカタログ。といっても豪華な特製カタログではなく、年間のクラブ活動を記録したアルバムのこと。これが活動を理解してもらった上で、このクラブで何十というクラブがある時代、勧誘される方にとっても、する方にとっても多くを語らずひと目で納得!というワケです。

●読書家は中年ばかり?

書店に何種類の本がならべてあるか数えたことがありますか? そんなもの数えられるものではありません。なにしろ、昨年は創刊された雑誌だけで史上最高の235もあつたそうです。しかし学生などは、近ごろあまり本を読まないそうです。読書時間ゼロの学生が20%(愛媛大学生協調査)もいるとか。もっぱら本の虫は中年、というのが出版界の定説になりつつあるんだそうです。
そんなところから、読書傾向から中年をいくつかのタイプに分けたりします。
一例を挙げてみましょう。

①老化防止型 ベストセラー、ノウハウものを好む。併せてジョギングなどして能力アップに励む。

②ヤング追従型 今なら「なんとなくクリスタル」を読む。ほかにタウン誌など。意識としては若者の考え方、行動にある種の焦りを感じながらも、ヤング文化に触れることによって優越感を維持しようとする。

③読書会型 「第三の波」などビジネスがらみの文明批判の本を読み、会社外での人間関係を作ろうとする。

④教育オンリー型 古典、哲学書、あるいは特定の作家を好む。大人版落ちこぼれ?

とまあ、こんな具合になるわけですが、イヤミな分け方をする人もいます。



モーターサイクルサロンビッグベン南仙台

高田 泉社長

宮城県仙台市沖野館西128-2 ☎0222(85)2132

フレンド店
登場

'81-5



「工具、サービス機器は店の財産」という高田社長の考えが一目で読みとれるサービス工場。ビッグベンさんは、市販レーザーも扱うヤマハRSSでもある



地域への密着作戦、準備OK!

好評のスポーツバイクを基盤に、ファミリーバイクをもつと売る店に

新興住宅地にありながらスポーツユーザーが8割というユニークなお店。今回お訪ねした仙台市の「ビッグベン」さん、高田泉社長は「これからの課題はファミリーの拡販」と、PR活動を中心とした地域社会への密着作戦を検討中です。

●新興住宅地の中のスポーツ店

ビッグベンさんは仙台駅より約5キロ、国道4号線バイパスからわずかに入った所にあります。ここは仙台市の新興住宅地、お店のすぐ前はひととき大きな空地、中学校の建設用地とかで、来年の着工、再来年の開校が予定されているそうです。開校一番「この中学校の開校に期待しているんですよ」と高田社長は語ります。

新興住宅地という立地にもかかわらずお客様の8割はスポーツユーザー」と伺っていた取材子にとって高田社長のこの言葉は「中学生はスポーツユーザー予備軍となる……」ということを意味していると思っただけですが、これはとんだ早合点。高田社長の期待は、中学生ではなくその父兄にあったのです。

「スポーツのお客さまたちは、たいした宣伝もしないのによく来てくれます。しかし、こうした市場でもっと販売するには、なんといってもファミリーを増やさなければ。手づくりチラシを投じたり、3カ月に一度は新聞折り込みをしたり地元の人たちへのPRは行なっているのですが……」

免許教室もヤマハの合同教室へお客さまを

「ビッグベン・南仙台」さんのご商売の概要

- 開店……昭和54年5月
- 立地と商圏……仙台駅より約5キロの新興住宅地の一角。奥まった場所柄、道行く人の目にふれることは少ない。スポーツ車はロコミで周辺からも多くの人を集めている。
- 店舗……間口3間、奥行き2.5間、7.5坪。住居の前面を店舗として利用したもの。
- スタッフ……奥さま・とく子さん、放課後と休日のみのアルバイトの高橋君が、高田社長をもり立てている
- 販促活動……スポーツは紹介販売が中心。ファミリーバイクのPR活動は、手づくりチラシの投込み、新聞折り込み。これに職域への出張展示会も計画中。免許教室は、ヤマハの合同教室にお客さまをご案内し、実売率90%と成果を上げている。

ご案内しています。開催のたびにスピーカー付マイクロバスをヤマハさんから借りて私が運転、女房がアナウンサー役で呼びかけているんです。実売率は90%以上と好調ですが、まだまだ店のことを知らない人が多い。中学校ができれば、中学校前のバイク店」ということで知られやすい店になるし、期待しているわけですよ」

●ヤングの好感を集める社長の人柄

さて、ファミリーバイク拡販作戦はさてお



↑土曜日の午前中にもかかわらず、お店にはスポーツバイクのお客さまが入れかわり、立ちかわり訪れて高田社長（右から2人目）は大わらわ

→「日曜日を利用して郷里の秋田まで……」というお客さまのRZを親切に点検整備する高田社長

き、スポーツショップとしてヤングの人気を集めるビッグベンさんのスポーツ販売をご紹介します。

2年前の開店まで、高田社長はメーカーの技術関係の仕事をし、趣味にロードレースを楽しまれていました。こんなことから、メカニズムやテクニクに関する高度な知識が得られることが、ビッグベンさんの大きな魅力となっていることは容易に想像できます。

「レースを通じてバイクの楽しさも、怖さも身にしみて知っています。それだけに直な気持ちでバイクに乗ろうとしている人には『バイクはそんなもんじやない』といっています。お客さんが街中で大きなバイクを安全に乗りこなすための知識、技術への注意を特に指導しているのです。

昨年は250cc以上のお客さま全員をSUGOの「YRS」にご招待、私も一緒になって受講しましたが、これもうちのお客さんたちに「第一歩から練習しておしてもらう」ため。とても好評でした。

と特に安全指導に力を入れています。

「高田サンは、バイクのことをよく教えてくれるし、本当に親切に面倒をみてくれる。ヘンなこと言うところちが叱られるが、そんなところも魅力です」と若いお客さま。

「出来ることと出来ないこと」をはっきりと伝え、たとえお客さまでも「イケないことはイケナイ」とハッキリいえる高田社長の



宅地や建築中の住宅が目立つお店の周辺。左の空地にやがて中学校が

人柄が多勢のファンを生んでいるのです。

ビッグベンさんのお客さんは、数人ずつのグループでツーリングを楽しんでいます。東北学院大学の学生さんを中心に「てんとう虫」ツーリングクラブもあり、月1回のツーリングにはアダルトのお客さまも参加、もちろん高田社長も一緒になって楽しまれています。

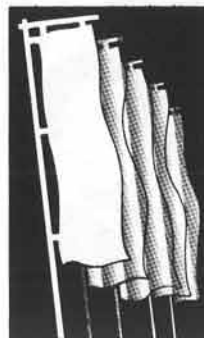
●原点に返って
打って出る商売に「チャレンジ」

こうして3年目を迎えたビッグベンさん。なんとといっても当面の課題はファミリーバイク拡販。

「まだまだお店のPR不足なんですよね。先日子供の学校の行事で近くの交差点で道路横断の指導をしたんですが、その時ここを通るバイクが多いのに改めてビックリ。その多くがうちのお客になり得る地区の人たちなんです。つくづくPR不足を痛感しました。

免許教室の実売率90%という実績からも、一度来店されたお客さまには満足していただける自信は十分あります。それだけにこれからは、チラシの投込みや新聞折り込みの回数をややし、運まきながら近くの会社や工場で職域展示会なども実施して、まず店に直結した地域から店の名前を浸透させたい」原点に立ち返っての「打って出るご商売」で、ビッグベンさんの春商戦は、これまでとはまた違った活気に満ちあふれていました。

セールス最前線

●吉川 雅之
(産業能率短期大学講師)

バイクには一年中でも最高にすばらしい季節がやってきました。お客さまと連れ立ってちよつとひと走り……そんなお店も多いことでしょう。社長さんやお店のみなさんの活動的な姿が、ご商売のうえて思わぬ成果を生み出すもの。今月はそんな姿を販売促進の面から考えてみました。

お客さま参加の販促活動

このお店では、最近ビッグバイクの売上げの比率が増加しています。ビッグバイクを増やす、というのがお店の方針でもあるのですが、その中核となっているのが、このお店にあるスポーツクラブなのです。

時として人数の増減はあるようですが、およそ40名ほどのツーリング主体（ロードスポーツ）のクラブと30人ほどのオフロードバイクのクラブを持っているのです。

クラブの規模はそれほど大きいわけでは無いのですが、クラブ員の中の何人かはベテランで、安全運転指導員の資格を持っており、ツーリングの機会などを通じて他のメンバーに安全運転に対する指導をしています。

したがって、新しいバイクを購入した人などにとっては大変便利な存在であり、お店としても積極的にクラブへの加入を勧めています。バイクの安全な運転のし方とバイクの楽しみ方を知ってもらうためです。

このクラブでは、年に二回ほどクラブ員が

全員顔を揃える総会があり、その他にもクラブで月々に有志が集まってツーリングや林道走行会などを開いています。これらのクラブの活動に対しては、お店側はあくまでも援助者であり表に出るよりは、むしろ裏方の仕事を中心に引受けています。

例えばミーティングの際の場所の提供などが、会員への連絡をはじめ事務的な手続きがそのおもなものです。

この他、年に一度ないし二度は、気候の良い時期に全クラブ員が集まって、パーベキューパーティーや運動会のような催しも開いていますが、このときには会員の家族のためのマイクロバスの運転、機材の運搬やサービスのリーダーがわりのトラックの提供などを引受けています。

社長さんは「こんな時こそ、お客さまばかりでなくそのご家族の方がたにもバイクを理解していただく絶対のチャンスだ」と考えておられるのです。

こんな活動は、なにもビッグバイク中心のこのお店でだけではありません。ファミリーバイクを主体としているお店でもユーザーである奥さま方のファミリーバイク・ツーリングを実施しているお店があります。

目的は、自転車ではちよつと遠すぎる15キロから20キロほど離れた場所に設定し、主婦が多いために、同行するお子さま用にマイクロバスまで仕立てています。

しかし、このくらいの距離ですと、バイクならカンタンに行けてしまうので、走ってお弁当を食べるだけのおもしろくありません。そこで、行った先の駐車場などの広場を利用して運動会などを催したりしています。バイクの遅乗り競走、パン喰い競走などの楽しい遊びです。季節によっては、イモ堀り大会や梨もぎ大会なども人気を集めています。帰りのバイクのバスケットには、カラのお弁当箱の他にとりたてのオイモやくだものが入っていて、家へのおみやげも不要というわけです。

商品の附加価値を高める販促活動

このように、お客さまに参加していただく催し物は、販売促進活動の中ではイベントとか催事とかいわれています。

最近バイク販売店に限らず、小売店に関する話題の中に登場する話として、商品売るだけでなく、その商品の使い方、その楽しみ方までを売ろう、という内容のものがよく目につきます。メーカーや小売店は、単純に商品を提供するだけでなく、その商品を使うとどんな楽しみ方があるのか、という方法まで教えて行くという主張です。

最近の商品の中には、用途がきわめて広いものが増えています。例えばVTRやオートブレレンジなどです。

VTRは、テレビの番組を録画して後で見ても楽しむというだけでなく、ご存知のように免許教室の講師の役割もすれば、教育番組を

録っておいて良い先生ともすることができま

す。カメラをつければ子供の成長記録としてアルバム

の役割もしますし、お客さまのライディング

フォームの悪いクセを指摘して、お客さまのバイク

上達の手段にも使えるのです。電子レンジでも、

それまで知らなかった新しい料理が何十種類と

できるようになります。それだけではありません。新しい商品によ

って新しい使い方、新しい楽しみ方が増えるというこ

とは、それだけその商品を使う人にとって生活のし

方が広がったことを意味します。商品売るだけでなく、

商品によってたらされる新しい生活

を売る、つまり「生活提案」のできる小売店

というものが、これからの理想の小売店というこ

とになります。商品を売るだけでなく、あとの使い方はご自由

バイクでもまったく同じことがいえるでしょう。「パス

よりは便利で安いから」という理由でバイクに乗り

始めたお客さまが、そのままバイクに乗って

いけば、バイクは単にパスの代用品にしか

すぎません。それにプラスして、バイクの

楽しい乗り方まで教えることができれば、

そのお客さまにとってバイクは2倍の価値を持

つていきます。購入時の価格が高くても、

例えば2倍楽しむことができれば相対的に

価格が2分の1になったのと同じこと

になるわけです。お客さまに満足が得られれば

さらに上級の車種への代替も生まれてくる

でしょうし、他のお客さまの紹介も増えてく

るはずです。このように、バイクを売るだけで

即効性ばかりじゃありません……

これまでのバイク販売店の販売促進策を見

てみると、どこのお店でも案外同じようなこ

としかしていません。つまり、免許教室、チ

ラシの配布、展示会それに値引きやそれに似

たモノを付けるという手法のことです。これでは

他店に差をつけることもできません。これからは

の限られたお客さまの引っぱりついでであり、

力がつよところ(店)が勝りますが、お互いに

利益を失い傷つきあうだけになりかねない

のです。業界が成長期で需要もグングン

伸びている時にはこれらの活動も即効性

があり有効です。しかし、もうそろそろ

多少手間はかかりませんが、本来の意味

での基本的な需要の開拓活動に取組んで

いくべき時代になっているようです。一見

手間はかかり、その割に売上げの伸びに

は、不返ることが少ない、こうしたお客

さまの組織化なども地道につづけていくこ

とで確実な需要開発への道が開

け、安定した成長が望めるのです。これ

までも、さまざまな業界で同じような

顧客の組織化の活動がされています。例

えばカメラ業界の撮影会や家電業界の

「奥さま料理教室」などです。しかし、

成功した例はなにも思われ

ません。その原因はいろいろ考えられ

ますが、まず

第1は功を焦ったためでしょう。売上げ

という成果をすぐに期待し、「費用を

かけた割には売上げが

あがらない」とあきらめてしま

う傾向もあるようです。しかし、この

ような活動は、前述のように長くつづ

けてこそ効果が期待できるものです。その場

だけ

の売上げ

を期待し

て、費用

をかけた

割には

売上げ

があが

らない

という

傾向

もある

です。

しかし

このページは、ヤマハ奥さまのためのスペースです。奥さまの話題や奥さまから寄せられたメッセージ、さらには奥さまにお役立ちいただける情報をお知らせいたします。ぜひご参加ください。なお、投稿の宛先は、
 〒438 静岡県磐田市新貝2500
 ヤマハ発動機株式会社 宣伝部宣
 伝一課 ヤマハニュース係
 ☎05383-2-1111(内356)



お店のソフトボールチームでも 名キャッチャーの奥さまは行動力ナンバー1

小原淳子さま 岩手県盛岡市本町通り・小原サイクル(小原敏彦社長)



行動派ぞろいのヤマハ奥さまの中でも、ここにご紹介する小原淳子さんは、きつとナンバー1クラス。お忙しい社長さんを助けて平日は赤いパッソラでさっそうと走りまわり、休日ともなればソフトボールチームの紅一点として大ハッスル。OL生活から一変して5年、いよいよ快調な小原さんの1日をうかがってみました。

●お店を本格的に手伝い始めたのはいつ頃からですか——

親子2代続いているこの店に私が嫁いで来

たのが5年前。それから1年ちよつとで八千草薫さんのパッソルが大人気。その時から私も店のことを手伝い始めたんです。

●お店での奥さまの受持ちは——

主人は修理などで忙しいので、それ以外はすべて私がやっています。来店されたお客さまの応待から登録手続き、保険会社への手続き、バイクの納車まで。原付免許教室のインストラクターも私の役目なんです。本日は結婚と同時に店のこともやりたかったので原付免許を取って、その後普通免許をとった

んです。今は外出はもつぱら赤いパッソラ、指導員資格は52年にSUGOで取ったのです。

●まさに大活躍の毎日ですね。ちなみに1日のスケジュールを教えてください——

朝7時、お店に出て行動開始！ まっ先に登録用紙に目を通し記入してから市役所までひとっ走り。帰ると今度は保険会社へ、そしてヤマハの盛岡営業所へも部品の受取りなどで多い時には日に5〜6回も。店に戻るとまたバイクが売れていて登録用紙が増えている……嬉しい悲鳴です。もう陸運局じやすっかり顔なじみですからね。

こんな調子で夜の9時頃まで。それでも昼食は必ず12時半には店に戻って取るようにしているんです。どんなに忙しくても生活のリズムはしっかりと守っていますから。

●そんなにお忙しくてレジャーなどは——

忙中閑ありネ、時間をみつけては店のお客さまたちと作ったチームでソフトボールを楽しんでいます。ヤマハ営業所チームと月1回の定期戦もあって、勝率は5割ぐらい。

私のポジション？ もちろんキャッチャー。紅一点で花を添えて。主人もキャッチャー、私と交代でホームベースを守っているんです。

●さて、そんな行動派奥さまが特に心がけていることは——

OLからヤマハ奥さまに転身したわけですが、第1に感じたのは、お客さまとの1対1の会話から始まって終るまで、人と人のおつきあいだな、ということです。いろいろなタイプの方と直接に接する難かしさですね。でも今では、初めてのお客さまでもタイプや性格なんかをキャッチしてお客さまに合わせる自信もつきました。要は、気楽に話せて、友人のようになることが先決ですね。

●さて今後の抱負を、最後に——

今まで以上に活発に、明るく行動すること。そしてどんなお客さまにも印象に残るようにして、店の役に立ちたい。もうひとつは、新しいスクーターやファミリーバイクはすべて自分で試乗して、お客さまにあわせて選んでさしあげられるようにしたいですね、ハイ。

うちの子育て

今月のテーマは「子育て」。例によって北海道から九州まで8店のヤマハ奥さまに電話インタビューしました。「十分に面倒をみてやれない」という心残りの声。「それでもこのびのびとやっている」という子供自慢——どこのお店も子育ては共通した傾向のご様子、さてお店では？

子供も立派に成長

これからは対話の時間を……

北浦淳子さま

北海道川上郡

北浦モーター商会（北浦 博社長）

わが家は、昔から仕つけの厳しきことにかけては天下一品なんです。ところが主人の代になってから少しずつ変わってきました。ひとつに子供たちを伸びのび自由に育てていますし、子供たちのやりたいこと、したいことをやらせています。ただ、世間の道徳だけは、たとえ子供にうるさかれてもしつかり教えているんですよ。それに、長女が短大2年、長男が高3年、次男が中3年と大きく育ちましたので、これからはもっと対話の時間を多くしたいですね。

どんなに忙しくても

授業参観日だけは欠かさない

塚本君代さま

福島県郡山市

柳乗り物専科つかもと（塚本龍治社長）

どうしても商売第1、子供第2といったような毎日になってしまっています。昔は相当にスパルタ主義で厳しくやってきたんですけども、最近ではほとんど自由放任。それだけに機会をみつけてはスキんシップをはかるように気をつけています。授業参観日は店がどんなに忙しくても必ず出席するというようににね。これまでのところ一度も欠かしたことがありません。

子供の望みには

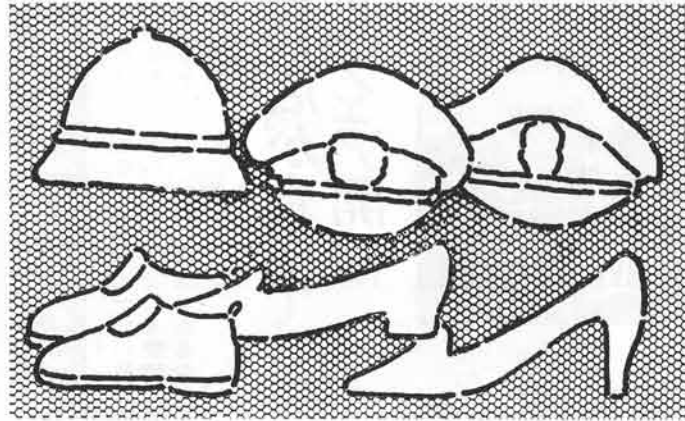
親としての応援を

城田清美さま

群馬県高崎市

モトショップ・シロタ（城田 博社長）

長女が小2年で長男が小1年です。子供のおぼあちゃんに預けっぱなしで、充分に接してあげられなかったです。今は、時々お店



に来て遊んだりして、長男はとなりの空地で4才の時から始めたミニバイクを乗りまわしています。まだ子供たちも小さいこともありますが、勉強も無理やりさせるものどもね。子供が自分の好きなものを見い出し、何かやりたいとい出したら、親としてもちろん全面的に応援してやるつもりです。

長男がバイク店を

小柳幸子さま

長野県下高井郡

南三水屋モーターズ（小柳文夫社長）

長女は小6年、長男が小3年、次女が2才の3人の子供です。長男は、学校で将来、お父さんと同じようにバイク店をする、といったそうです。ま、のびのびした子に育てたいと思っています。それに何か特技のある子に、子供たちとはできる限り話し相手、遊び相手となつて理解ある親になるよう心がけています。

効果大きいその場解決法

乾 恵子さま

大阪市住吉区

イヌイモーターズ（乾 道和社長）

2人の子供はどちらも男。上が今年近畿大に入、下は中学2年なので、そんなに手もかからず仕事と家事に専念できています。とはいえ、あまりに放任すぎてもいけませんので、私生活だけは割と厳しくしつけるように。平日はなかなか一緒にいられないので、日曜日に家族で話し合う時間を設けています。とにかく主人がその場で解決しなければ済まない性格なので何かあるとビシッ、と怒るんですよ、これが結構キイているみたいです。

ほったらかすほど

シッカリしているみたい

小川佳恵さま

山口市熊野町

山口ポイント商会（小川克己社長）

朝から晩までお店の事務関係の仕事をしていすので、あまり子供の面倒を見れないんです。ですから、まったく干渉しないといつたらウソになりますけど、ほどほどにそれぞれ自由にやらせています。やはり子供ですから、両方がしかってばかりではかわいそうでしょう。ですから、もっぱら私がかばい役に回っています。子供は、予備校1年生を筆頭に高2と中2の、男、男、女。下になるにしたがって、ほったらかしのまま育ててきましたけど、結構しつかりするもんです。

それぞれの性格、個性の

芽をつぶさないように

岡村和代さま

香川県高松市

モーターサイクルサービスおかわら（岡村秀樹社長）

ウチの子供たちは、上から中1の長男、小学4年と3年の長女に次女の3人兄妹です。この子たちもそれぞれ考えをもち、彼らなりに責任もとれますので、学校では友だちとの交流と勉強、家庭では健康で明るく伸びやかに育てることに心がけています。それぞれの性格、個性があるのでその芽をつぶさないように、自分の道を見つけられればと考えているんですが、養育で悩んだことはいくらでもあります。だって子供たちみんな自然に健康に育ってくれましたから。

家庭の暖かさと愛情をそそぎたい

糸永安代さま

福岡県大牟田市・糸永商会（糸永親義社長）

5才の長女、3才の長男、1才の次女と今は大きく成長していく前の基本となる幼児期教育に追われています。それに私は店では事務関係が担当ですから、わりと子供たちとふれあう時間がありますし、主人にも見てもらっているの監視は十分ですね。家庭の暖かさや愛情を知ってもらい、外によく出ていろうんなんものや多くの友だちとふれあって、より広い経験をつんでもらいたいと思っています。



Yamaha Topics

ヤマハニュースは
販売店みなさまの
情報誌です。



お店のみなさまがつくる、みなさまのための「ヤマハニュース」をめざして、積極的な誌上参加をお待ちしております。
ご商売にまつわるさまざまな話題、明るいニュースなど、どんなものでも結構です。お電話で、お手紙でどうぞお気軽にお寄せ下さい。取材要請、ご質問、ご相談もどうぞ。宛先は——
〒438 静岡県磐田市新貝2500 ヤマハ発動機株式会社宣伝部宣伝一課
「ヤマハニュース」係
☎05383(2)1111 内線356

いま、春商戦まつさかり！ 東で西でビッグなヤマハバイクフェア

本格スクーター・ベルーガや、話題のVツイン・XV750スペシャルの登場で、さらに盛りあがりを見せる81年春商戦。いまやバイク市場ではヤマハの新車攻勢が話題を独占していますが、それ

を受けて全国のヤマハ販売店さんでもビッグなヤマハバイクフェアを開催。緑薫る5月の風とともに、バイク前線も急速ないきおいで北上しているところですよ。

ヤマハフレンド店会17店が合同で 二千台のオールヤマハフェア開催

〔ヤマハ北関東・宇都宮営業所〕ます
4月4日(土)と5日(日)の2日間にかけて、栃木県宇都宮市の競輪場内の駐車場が開かれたのが、ヤマハ北関東傘下のヤマハフレンド店会17店の主催による「81オールヤマハフェア」。

話題のニューモデルに中古車も合わせて1000台が並べられたこの展示即売会には、あいにくの雨模様にもかかわらず2日間延べ4000人が来場。新車、中古車を含め3000台以上の契約が成立するなど、早くもヤマハバイク人気の盛り上がりが見えがえしました。

このフェアを企画したヤマハ北関東宇都宮営業所の松沢義夫所長の話によると、「そもそもこのフェアは今年1月に企画して、栃木県下の大型店に呼びかけて実現したもの。これまで各販売店さん単位で行っていた展示会を一挙に大型化してヤ



↑話題のXV750スペシャルを筆頭とした豪華なヤマハバイク群

→木下恵司のファクトリーマシンも、スポーツバイク派のお客さまの人気の的

↓ビッグなヤマハバイクフェアに意気上がるヤマハフレンド店会17店さんとそのスタッフ



一堂に集まったヤマハバイクにお客さまの購
売意欲も上々



販売店さんの参加の仕方もそれぞれに個性が
発揮され、目を楽しませてくれた



マハバイクの販売気運を盛り上げる
とともに、販売店さん同志のコミュニ
ケーションをさらに円滑にするこ
ういう目的があった」とのこと。
一方、主催者のお一人としてこの
フェアに参加した販売店さんは、「う
ちはビッグスポーツに力を入れてい
るだけに、このフェアの効果はかな

り大きい」（川口輪業／川口信雄社
長）、「より多くのバイクにまたがら
せてヤマハバイクのよさを知ってもら
おうと、ユーザサービスの一つもり
て参加した」（ジャンボサイクル／
西村吉夫社長）と、それぞれ今回のフ
エアの成功と、今後の波及効果への期
待に胸ふくらませていました。

ちなみに、今回の販売店さんの協
賛金は5万円。新車はヤマハ北関東
が、中古車は各販売店さんが出展し
たもので、会場中央のステージでの
ロックバンド演奏や、会場内の特設
屋台（オデンやソフトクリームなど）
は、さながら遊園地の様相を呈して
いたほどです。



14万人の泉北ニュータウンを背景に ヤマハソフトバイクフェアで話題づくり



↑ニューファミリー
を中心に大き
な盛り上りを示
した「ヤマハソ
フトバイクフェア」

→特賞パッソルが
あたる抽選会に
はそれぞれそ人
がきができるほ
ど

←ファミリーの中
でももっとばら
か度ナンバー一
だった奥さま族
（左が録家社長）



↑この1日だけで20台が契約され、次
回開催への意気込みもますます上昇

←パッソルをはじめとしたヤマハソフ
トバイク群のほか用品類も展示され
人気を集めた

〔ヤマハ大阪・堺営業所〕 北の千里
ニュータウンとともに、大阪の主要
ベッドタウンとして知られる南の泉
北ニュータウン。その中枢ターミナ
ルともいえるパンジヨ広場では、こ
の4月12日(日)にヤマハのソフトバ
イ

ク全車種を揃えた「ヤマハソフトバ
イクフェア」が開催。一日あたり3
万5千人ともいわれる通過人口を相
手に、「やさしさ」あふれるヤマハ
のソフトバイクのデモンストレーシ
ョンが盛大に行なわれました。
この「ヤマハソフトバイクフェア」
は、泉北ニュータウンの入口にあた
る伏尾で、ご商売する多くのや商会（録
家敏之社長）さんが主催したもので、
今回を第1回として3回が予定され
ているもの。第1回がソフトバイク、
第2回がスクーター、第3回がビッ
グバイクと、3回に分けて話題のヤ
マハのバイク群をすべて紹介。14万
人の人口を抱える泉北ニュータウン
中に、ヤマハバイクの話題を湧き起
そうという試みです。

実際フェアでは、パンジヨ広場の
中央にパッソルからベルーガまでの
50ccバイク群が展示されたほか、正
面には小ステージも特設。アンケート
に応募されたお客さまを対象に、
パッソルを特賞とした抽選会が行な
われるなど盛り上りを示しました。
なお、第1回目この日の成果は
20台でしたが、ろくのや商会さんで
はこのほかフェア開催中に配布した
チラシをお店に持参した方に対する
サービスも展開。その2重、3重に
構えたアフターフォローは、お客さ
まの心を捕えて離さず、以後も大き
な話題を呼び続けているのです。



地域と一体となつて 交通安全キャンペーンを開催!

〔ヤマハ東北・盛岡営業所〕全国の交通安全キャンペーン期間と、学校、幼稚園の入園前にタイムリングを合わせ、母親と子供に正しい交通マナーを身につけてもらおうと実施している。ヤマハ春の交通安全フェアミリーキャンペーン。その第2年目のキャンペーンは、去る4月5日の日曜日に、岩手県民会館ホールに700名の母親と子供を集めて開催されました。



ヤマハ東北盛岡営業所主催、後援にテレビ岩手、盛岡市、盛岡警察署、盛岡交通安全協会が揃つてのこのキャンペーン、舞台では昨年同様に劇団ピッカリ座によるミニミュージカルショーや交通安全劇が行なわれ、集まつた子供たちは大きなパンダのぬいぐるみ人形による「横断歩道をわたつてもいいかな?」の質問に対して、「赤だからダメ!」と大きな声で応えるなど、アクシジョンをとり交ぜた交通安全教室を楽しんだのもです。



↑今年で2回目のこのキャンペーンには、昨年も参加された母子の顔も多く見られた
→ぬいぐるみ人形を使った交通安全劇では、母子そろって楽しみながら勉強が

なお、ヤマハではこのキャンペーンを呼びかけるにあたってテレビや新聞はもちろん、販売店さんを通して徹底告知を行ないましたが、さらに当日入場者に対してはベルーガエ

ンピツや下じき、目で見える交通安全指導書「おかあさんは交通安全安全指導員」、原付免許教室案内パンフやカタログを配布。集まられたお母さん方も、「交通法規を口で伝えるのは

なかなか大変なもの。その点、人形劇を通してのこのキャンペーンは、効果が大きいと思います」と、すつ

銀座・松屋のスポーツフェスティバルでも 人気のマトソフトバイク!

〔ヤマハ東京〕展示会や試乗会の開催で、地元スーパーとのタイアップはいまや常識となっておりますが、ヤマハ東京(株)東営業所管内の大月ヤマハスポーツショップ(大月信和社長)さんではこのほど銀座のデパートのしにせ「松屋」とのタイアップを実現。各館フロアにバイクの展示スポットを設けるほか、原付免許教室や乗り方教室を開催するなど、大きな話題を呼びました。



春のスポーツフェスティバルとうたわれたこのフェアでは、4月2日から5日までにソフトバイク展示会と原付免許教室の募集を展開。翌4月6日には、原付免許教室が行なわれたのですが、日頃は子供に人気の屋上もこのときは大人のお客さまが独占。「春のスポーツフェスティバルと合わせてソフトバイクの免許教室も開き、春の交通安全にもひと役かおうというのが開催のキッカケ。これからもどんどんやっ

ていきたい!」(松屋担当者/村上光一係長)とおことばどおり、大月社長をはじめ関係者は意欲も新たに次の企画へと胸をはずませていたのです。

新車3台も参考出品して話題を独占した

東京モーターサイクルショー

〔ヤマハ発動機・東京支店〕バイクファン恒例の東京モーターサイクルショーが、今年も東京・後樂園スタジアムの展示センターで開催されました。

第10回を数える今年、3月27日から29日までの3日間にわたって行なわれたのですが、ソフトバイクを中心としたバイクの社会浸透と

もに、そのスポーツ性、経済性が見直され、来場するお客さまもヤングのグループからファミリー、アダルトまでといままで以上の幅広さが感じられました。

その中、ヤマハコーナーでは、マシンのオブ・ザ・イヤーを国内外で欲しいままにしたRZコンピや、本格スクーターのベルーガを展示、相

アッ、ここにもベルーガ!



本格スクーターとして2月の登場以来、話題を独占するヤマハベルーガは、いまや全国で引っぱりだこの人気を示していますが、去る3月25日から29日までの5日間、東京・晴海で行なわれた第20回東京国際ポートショーでも赤と白のベルーガがさっそうと展示。ヤマハのポート&ヨット群とともに、話題を集めていたのです。なお、ポートショー期間中の入場者数は約8万人。

変らずの人気を集めていました。なかでも圧巻は参考出品として展示した近日発売の3車、XJ750A、XJ650ミッドナイトスペシャル、



MOTOR SPORTS HIGHLIGHT



3月21、22日の第1戦関東大会、セフテイクパーク埼玉から、待望の81全日本選手権モトクロスシリーズがスタートした。今シーズンの見どころは、なんといっても国際A級ライダーに登録制度が採用されたこと。125、250いずれかの出場クラスを登録し、シーズンを通じてそのクラスのみ出場することになった。ライダーには、それだけ得意のクラスに全力投入でき、ファンには見応えあるレースの展開が期待される場所である。

注目のヤマハワークスライダーは、A級125ccに⑥竹沢正治、⑨鈴木秀明、250ccに⑤藤秀信、⑩光安鉄美の各2選手がエントリーしている。

125、250ともに水冷エンジン化し、新開発のモノクロス・サスペンションを装備したYZM125/250での出場。結

期待される藤、光安の復活!

●81全日本選手権モトクロスシリーズ

果は、第1戦で、125ccに鈴木秀明が3位、250ccに総合で藤4位、光安5位とスタートダッシュこそならなかったものの、4月4日、5日の第2戦西日本サーキットでは、125で第1ヒート秀明が再び2位、

一方、125、250、500の3クラスに各2名のヤマハラライダーが出場する世界選手権シリーズも相ついで開幕。イタリア、オランダと2GPを終えた125ccでは、ベルギーのホープM・バルケニヤスがYZM125で第2戦第2ヒートに優勝、

●世界選手権モトクロスシリーズ

バルケニヤス まず1勝(125cc)

ランキングテーブルでも早ばやと2位につけている。

一方、ハドソン、ワトソンのヤングコンビが初挑戦する250ccでは、両者とも各ヒートごとにめざましい走りを見せながらもアンラッキーがつづいている。しかし、第2戦スペインGPではハドソンが総合3位に入賞。

そして、4月5日のオーストラリアGPで開幕した500ccでは、A・プロマンズが総合4位とまずまずのスタートを切った。



↑最新技術を取り入れたXJ750Aの周りにはつねにホットな話題がうずまいていた



→マニアにとってもやはり注目せざるをえないRZ350

札幌の中心のヤマハセンターに ヤマハバイクのショールームが開設

〔北海道ヤマハ・札幌営業所〕くらしの足として完全に市民権を獲得したバイクは、いまやさらにアウトドアスポーツ人間の間でも大きな注目を集めています。ここ北海道札幌市中央区のヤマハセンター(日本楽器ショールーム)では、このほどインドアテニスコートオープンにもない、スポーツ用品展示コーナーを開設。ヤマハのラケットやウェア、シューズなどテニス用品とともに、50ccバイクとヨットを展示したショールームがお目見得しました。

3階建てのこのセンター、1階が楽器、2階がホーム用品の展示にあてられているのですが、パッセル、&パッソラからベルーガ、ポッケ、フォーゲルまでのヤマハ50ccバイク群が勢揃いしたショールームは、3階のインドアテニスコートと練習場の入口脇に開設。テニス教室に通う生徒の目を惹きつける雰囲気づくりを行なっています。

なお、このショールームの管理は、ヤマハに代り市内の主力販売店さんが担当しているものですが、さらに

XJ4000スペシャル。とりわけ、マイコンを使用した集中モニターを備えたXJ750Aには、「乗用車以

上のメーターだろ」といった声が上が。早くもあちこちでその価格が噂されるシーンが見られました。



免許教室の案内も置かれるなど今後の反響が期待されているのです。

○ヤマハセンター→札幌市中央区南十条西一丁目(詳しいお問合せは北海道ヤマハ札幌営業所まで)

『80年代のバイク専門店、それは生活圏の交通問題のエキスパートでもなければなりません。交通社会の中でいまどんなことが話題になっているのでしょうか？ 地域社会の交通安全のリーダーとし

てどんな取り組みが期待されているのでしょうか？ このページにご紹介するさまざまなテーマは、どれも私たちが真剣に取り組んでいかなければならない課題です。

『ベルーガ80』2人乗りのためのアドバイスも 徹底しましょう！スクーターの店頭指導

本格スクーター『ヤマハ・ベルーガ』の発売にあわせてヤマハ安全運転推進本部では、『ベルーガ・正しい運転指導の手引き』を作成。販売店のみならずご活用いただくことになりました。これは、スクーターという商品特性からみて、6輪使い分けて初めて2輪に乗る方も多く予想されることから、これまでファミリーパイ

クのお客さまに実施し、大きな成果を収めてきた店頭指導を、スクーターでも同様に徹底したいという趣旨のもとに制作したものです。

特に『ベルーガ80』は、2人乗りも多いことから、これまでにないライダーとタンデムライダー、それぞれに対するアドバイスをもり込んでいます。

●二輪車は初めてという人も多ぜいいます

ベルーガは、男性アダルト向けに開発した本格スクーターです。しかし「男性なら、運転の仕方ABCをわざわざ教えなくても大丈夫だろう」と考えてしまうのは危険です。ベルーガを購入しようとするユーザーの方の中には、二輪車の経験が乏しかったり、あるいは皆無であったりする人も多はず。ベルーガを見て、初めてスクーターに興味を持ったユーザーの方や、四輪車との使い分けを考えて購入される方も多しと思われるからです。

また、たとえ四輪車の運転に慣れている方であっても、すぐにスクーターをじょうずに運転できるとは限りません。二輪車は、乗る人がバランスをとりながら運転するという、四輪車とは全く違った技術を必要とする点を始め、運転特性の面でも多くの相違点があります。運転装置の操作、路上での気の配り方など、細かい点ひとつひとつアドバイスしてあげましょう。

●正しい順序で少しずつ教える

男性、女性の区別に関係なく共通して言えることは、いっぺんに何もかも教え込もうとするのは、かえって逆効果……ということです。じょうずな指導のコツとは、ワンステップずつ確実におぼえてもらう。まず、おぼえたい気持ちにさせる。それから正しい順序で少しずつ教えていくことです。

何を教えるにしても、相手がおぼえやすい基本的な手順をふむと比較的效果が上がりやすいものです。その手順とは――

- 1) 説明する。実際にやってみせる(要点を強調)
- 2) 理解したかどうか確かめる。
- 3) やらせてみる。
- 4) 悪い点があれば直す。

以上のような、4段階の教え方をしてください。他の二輪車と異なる、スクーター特有の

操作は、とくに強調してマスターしていただきます。

●2人で乗る人のためのアドバイス

ご承知のように現在、スクーターが大流行していますが、国産のスクーターで2人乗りのできる機種は『ベルーガ80』だけです。原付車は乗車定員は1人ですが、自動二輪車は乗車装置があれば、運転車を含めて2人まで乗ることができます。当然、『ベルーガ80』は2人乗りができるわけですが、2人で乗る場合には、1人で運転する時とは違った注意が必要になってきます。『ベルーガ80』のユーザーの皆さまに対して最も重要なアドバイスのひとつが、この2人乗りをする場合の注意です。運転に自信がない方や、クルマに慣れないうちは2人乗りは控えてもらったほうがよいでしょう。

〈うしろに乗る人のための注意〉

- 同乗者もヘルメットをかぶらなければなりません。
- 横すわりは危険です。
- 両手を運転する人の腰に軽く回して、からだを支え、運転者の肩越しに前方を見るようにしましょう。
- カーブなどでクルマの傾きにさからったり、故意にからだを傾けたりしないようにしま

しょう。

- ヘルメットのツバが運転者に当たらないように注意を。

《運転する人のための注意》

- 発進は慎重に。フラ付きに注意。
 - 速度は控え目に。特にカーブはゆっくり回しましょう。遠心力の働きが増して危険です。
 - ブレーキは早目にやわらかく。1人で運転する場合に比べ制動距離が長くなります。他の車との間隔をじゅうぶんとって走りましょう。
 - ニードリップ(ももでシートをはさむ)をきかせて、バランスをしっかりとるようにして下さい。
 - 2人乗りをする場合は、後輪タイヤの空気圧を高めにしましょう。
- ――これらは、いずれも「正しい運転の手引き」に掲載した諸注意です。

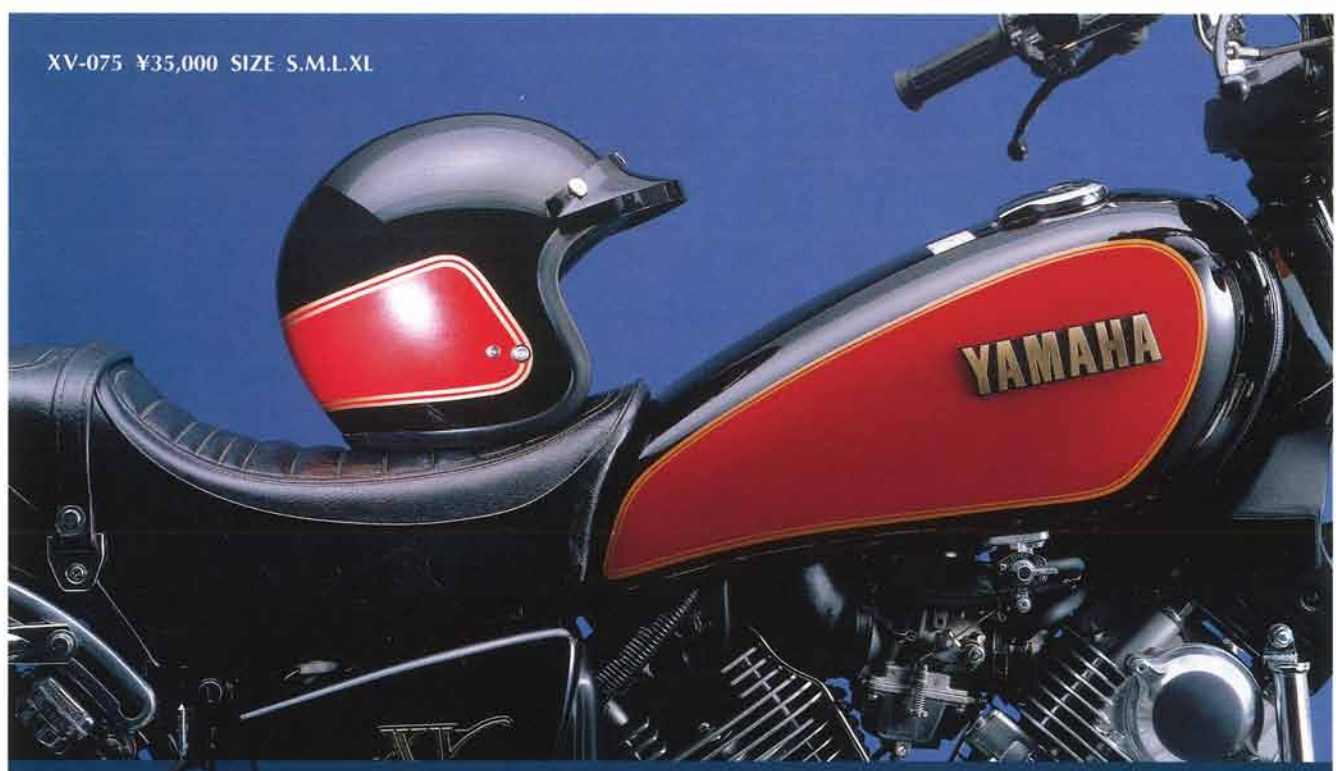
販売店みなさまの的確なアドバイスによって本格スクーター『ベルーガ』の魅力が本当にお客さまの喜びにつながるように、特に80ccでは「2人乗り」というベルーガならではのメリットが存分に発揮されるように、この手引きをご参考に店頭指導を必ず実施されるようおねがいいたします。



ヤマハヘルメットスペシャルシリーズ
6月1日より発売予定

'81スターダムにのし上がれ!

スペシャルシリーズは、ヤマハのオリジナルデザイン。
素材はカーボンファイバーを越えたC.L.C（複合基材積層構造）を採用。今、ヘルメットもヤマハの時代へ!



XV-075 ¥35,000 SIZE S.M.L.XL



RZ-035 ¥47,000 SIZE S.M.L.XL



ヤマハから。

スポーツ・スクーター

八千草さんのパッソル、パッソラ、ナベサダさんのベルーガ、素敵ですね。みんなヤマハのスクーター、ヤマハはスクーターの時代をひらきました。そして今またスクーターに新しいジャンルをひらきます。スポーツ・スクーターです。パセッタです。ヒップがキュッとアップして、キュートでしょ。シート直下のセンター・クッションがまたスマート。腰をおろすと、もうそれだけで、スポーツの気分です。パセッタで、走ってみませんか。街の風が、海の風が、スポーツの風が変わります。とっても爽快。とっても痛快。パセッタは若さのスクーター。

● スイッチを押すだけでエンジンがかかるセル付、キック式があります。● ボディカラーは4色。● 免許を取りたいと思ったら、お近くのヤマハ販売店へ。「ヤマハ原付免許教室」がお手伝い。● お支払いは「ヤマハらくらくクレジット」を。3回から20回まで6種類の分割払い、ボーナス時増額払いもできます。● ヘルメットをかぶりましょう。● 定期点検を忘れずに。ヤマハ発動機株式会社 〒438 静岡県磐田市新貝2500 Tel.05383(2)1111

ヤマハスクーター・ラインアップ ¥69,800から、パッソル、パッソルD、パセッタ、パッソラ、ベルーガ。

Sports Scooter pasetta

新発売
YAMAHA **パセッタ**

標準現金価格 セル付 ¥92,000 キック式 ¥83,000

広告活動ご紹介

これは4月下旬から発売されている女性週刊誌に掲載した「パセッタ」新発売広告です。本格的なバイクシーズンを迎えて「パセッタ」新発売キャンペーンやヤマハスクーター勢ぞろいキャンペーンがにぎやかにくりひろげられます。お店の販促活動にも、これらの運動効果を存分にお役立てください。